

ピリディアンの迷宮

「青木ヶ原樹海」それは、昼なお暗き、翠の迷宮。それは人の心にも似て…

登場人物とか・・・

キヤサリン大塚(きやさりん・おおつか)

三流劇団ぼを・たんつの看板女優。あの御嬢様劇団「ワン・ナイト・シンデレラ(略してワナ・シン)」に在籍していたらしい。それも旗揚げメンバーの一人として・・・確か「ワナ・シン」は御嬢様学校「F学園」の演劇サークルがその前身であると聞く。つていうことは、キヤサリンも御嬢様学校出？ちなみに本名は大塚晴子。

木暮崎剣(こぐれさき・けん)

言わずと知れた三流劇団ぼを・たんつの看板俳優。底なしの自信と勘違いと小麦粉と塩少々をこねて、ねかせて、焼いたら出来上がっちゃったような男だ。曲がったことが大嫌いだ、端から性根が曲がっていたりもする。今回は呼ばれてもいないのに、出張つて来ちゃったみたい・・・

西岡花梨(にしおか・かりん)

人気御嬢様劇団「ワン・ナイト・シンデレラ」の動物系担当。三流劇団界一、着ぐるみの似合う女優と言われている。犬、猫のみならず、羊、ワニ、ダンゴムシと広い芸幅を持つ。最近の彼女の興味はナモコやウニなどの腔腸動物に向かっているようだ。「バフンウニの苦悩をいかに微妙な動きで表現するか」に、目下、挑戦中とのこと・・・

アレックス・2000(あれつくす・ぶい・にせん)

ミクスチャー・サイバー・パンク系SF劇団「Burnin' Chrome 00(バーニン・クローム・ダブル・オー)」所属の男優。舞台と同様、日常生活においても「サイボーグ戦士」である。しばしば、夜空を見上げてはアメリカの軍事衛星と対話している・・・

花吹雪小春(はなぶきこ・はる)

日本唯一の(世界唯一だろうけど・・・)演歌ミュージカル劇団「艶華劇団@JONGARA 艶姿(『えんかげき・あつと・じょんがら・あですがた』と読む)」のきれいどころ。桜吹雪の中、三味線(太ざお)を抱えて踊り謡いまくる小春の艶姿にコアなファン多しと聞く。

仲根和彦(なかね・かずひこ)

特定の劇団に所属しない、言わば「流しの男優」。毎年十本程度の作品に出演するという。「芝居に休みなし」といったところだ。芸歴はびっくりするほど長いし、芸幅の広

さは、面積にして、なんと甲子園球場6個分。どんな芸風の芝居にも、自然に、それも瞬時に馴染むことが出来る。

賀茂愛(かも・あい)

アイドル系事務所に入っているという噂がある女の子。しかし、三流劇団の舞台の客演以外では、とんと目にすることはない。幼く見えるが、老獪な策士である。きつと歳を誤魔化してる・・・

久米田さん(くめだ・さん)

河口タクシ一の運転手。とつても「気さくな」地元民。山梨県立吉田高校卒。在学中は演劇部に所属していたらしいが・・・どういうわけかドラマの渦中に巻き込まれてしまふ。だって、彼には彼なりの「決着をつけねばならない過去」があったから！とても、そんな風には見えないけどね・・・

能義達哉(のぎ・たつや)

映画監督。今は無き有名インディーズ系映画プロダクション A.G.C. (Avant-Garde Guild、アバント・ガード・ギルド)の幻の名作映画『どこにも行けない道(1989)』の監督をしたことで有名。

滑川史郎(なめかわ・しろう)

『どこにも行けない道(A.G.C.、1989)』で能義達哉の下で助監督を務めた。根っからの「バシリ」なので、当時「なめかわ・しろう」と揶揄されていた。心の底から能義達也に心酔している。

結城頼子(ゆうき・よりこ)

映画『どこにも行けない道』の主演女優。でも、出演した映画はこの作品のみである。そもそもって、現在は消息不明(青木ヶ原樹海へ消えた?)。能義達哉の幼なじみでもある。(本作品には、本人は出演していないけど・・・)

断片 (1)

― 携帯の電源は… ― 誰なんだ、お前？ ― 電気びりびりは嫌！ ―

東京都豊島区北大塚、萬スタジオ。

行き方のコツは「JR大塚駅北口改札を背にホープ軒黄色い看板のラーメン屋」に沿って右に進み、マクドナルドとモスバーガーの間の道を直進」だ。

この地下の劇場で、今まさに、芝居が始まるうとしている。まだ、なにもない舞台の上に、一人の男が現れる。

いかにも Botan 風のサイバーパンクな出で立ちだ。あれ？ 唐突に芝居が始まっちゃったのかな？ いや、違ふみたい… これ、幕前の挨拶だ。「上演に関してのお願い」とか、喋ってるし… あっ！ ちよつと待つてこの人知ってる！ Botan の脚本書いてる人だ… たしか、はなだ…

…本日はご来場くださいましてまことにありがとうございます。もうすぐ、公演が始まりますが、上演に関しまして、いくつかお願いがございます。まわりのお客様の失笑を買う恐れがありますので、上演中は時計のアラーム、携帯電話の電源等はお切り下さるようよろしくお願いいたします…

と、突然、雷鳴が轟き、客電が明滅し消える。

はなだ
な、なんだ！？ 雷鳴？ (上空を見上げて) 一天にわかにかき曇り、渦を巻くような雷雲が… (我に返り) ちよつと待て！ ここは地下の劇場だろ？ なんて、雷雲が？ …ああつ、こんな事を言っているうちに、雷雲が左右に千切れるかのごとく、分かれていく… そして、雲の切れ間から光が目映いばかりの光が、差し込んでくる… (何て説明的なセリフなんだ…)

目映いばかりのスポットライトが上空から、はなだを照らす。

そして、実に重々しい声が響き始める…

「はなだよ… はなだよ…」

何故か、神々しい音楽が静かに流れ出し始めている。

はなだ

だつ、誰だ？ 俺の名を呼ぶ奴は！

重々しい声が、気さくに答える。

「ワシじゃ、演劇の神様じゃ。」

はなだ

演劇の神様？ なんじゃそりゃ？

神様

お前の脚本を書かせているものじゃよ。

はなだ

脚本を書かせている？

神様

そうじゃ、お前は自ら書いていると思つていらっしゃるようじゃが、それは間違いじゃ。

はなだ

ワシの力によつて、書かされているのじゃ…

神様

たわけたことを！ そんなわきゃねーだろ！

はなだ

えのことじゃ…

(ひとりごちて) ちよつと待て。なんなんだこりゃ？ 幻聴か？ そうだそうに決まっている。ちよつとストレス溜まり気味だったし… そうだ、職場でもらった「メンタルヘルス・ケア・ハンドブック」を思い出すんだ。そうだ、人格の乖離現象だ。それが始まつている。このままでは、二度と戻ることの出来ない「川の向こう岸」に渡つてしまふ。落ち着け、落ち着くん… 氣を楽に持てば、この幻聴も消える。深呼吸だ…

神様

何さつきから、独り言を言つておるのじゃ？

はなだ

き、消えない… もっとリラックスだ。気持ちを落ち着けるんだ。何かほかの、どうでもいいことを考えるんだ。そうだ！ 羊の数を数えよう。羊が一匹、

羊が二匹… すーぴー、すーぴー… (熟睡)

神様 寝るなあ！

神様の怒号に呼応して雷鳴が轟く。当然舞台上は目映いばかりのフラッシュ
閃光。吹っ飛ぶ、はなだ。

はなだ (安心して)何なの今の？ 大電流が身体を駆け抜けたような…

神様 「怒りの雷(いかずち)じゃ。

はなだ 「雷」ってお前！ 死んだらどうする気だ？ 一昔前の「ドリフ」なら、逆毛立

てて、顔に靴墨塗つてるところだぞ！

神様 お前が人の話を聞こうとしないからじゃ！

はなだ ストップ！ 「雷」禁止。今度喰らったら、マジ死んじやいそうだから… 分

かった。話を聞くよ、演劇の神様。

神様 よろしい。ときにお前、お前のところの芝居は、過剰すぎやしないかの？

はなだ 過剰？

神様 必要以上に凝つた小道具。ステージを埋め尽くさんばかりの舞台装置。お

洒落さんな衣装… そして、過剰なまでの演出。

はなだ それがウチの売りだろう？

神様 そして、お前さんの脚本じゃ。

はなだ 俺の本が何か？

神様 人を殺しすぎる。魂の重さを軽く見ておるのか？

はなだ あね、そうじゃないの。理不尽な死や命を賭けざるを得ない運命を描くこ

とにより、逆に魂の尊厳を…

神様 聞いたふうなことをほざくんじゃやない。人の死でもって観客の感動を誘おう

としているのが見え見えじゃ…

はなだ うるせえ！ (と、拳銃を引き抜き、天に向ける)

神様 ほら、また。すぐそれじゃ。拳銃引き抜けばいいと思っておる。拳銃で一体何

が出来るといふのじゃ？ 舞台の上で人は殺せても、神までは撃ち殺せん

ら？

はなだ お前、いかしたこと言うなあ…

神様 さあ、捨てるのじゃ。天に向けて撃つたところで、弾はやがてお前の脳天に落

つちて来るだけじゃぞ。まさに、「天につばを吐く愚か者」じゃの。

(拳銃を捨てる)

神様 それでよいのじゃ。そして、サブマシンガンも爆弾もグレネード・ランチャーも、

小道具だけでなく、過剰な物をすべて捨てるのじゃ… そして身軽になれ。

はなだ ちよい待ち。それ全部捨てちゃったら、それは、Boyan なんですか？ 銃撃

戦、血で血を洗う戦闘。理不尽な運命、それに翻弄される主人公、そして

最愛の者まで奪われ、彼は一人コッキングピースを引く… そして、その後

方では止むことのなき爆裂音が響き渡っている… それがウチの劇団でしょ

う？

轟く雷鳴。フラッシュ閃光。吹っ飛ぶ、はなだ。

はなだ 死んじやうつて… 頼むよ、前触れなく「雷」落とすの止めようよ。

神様 すべての過剰なるものを捨てるのじゃ。衣装を脱ぎ捨て、身軽になるのじゃ。

はなだ なあ、裸になれつてか？

神様 大事なことだけ隠しての…

はなだ それでは、違う趣向になるんじゃないの？ 「萬」じゃなくて「ロック座」とか、

「なんとかミュージック・ホール」とかで…

神様 比喩じゃよ、ばかたれ。とにかく、身軽になれということじゃ。例えば、お前

昔、「三流劇団ぼをたんつもの」と言うせい(しい)シリーズ物を書いておつたら

う。

はなだ なんだっけ、それ？

神様 しらばつくれてもだめじゃ。「げつ、まずいところをつかれたぜ」って顔にかいて

おるぞ？

はなだ 俺の顔はホワイトボードか？ 字を書いたり消したり器用なマネなんかでき

ねーっの。

神様 (妙なキヤラを入れて)・・・ポータンツなんか今後の戦略として、「三流劇団ぼ

をたんつもの」っていうの？ ライトな三流劇団内情ドタバタ喜劇？ そんな感じのをもうひとつのメインに据えていった方がいいんじゃない？ っていうか、そうすべき。ライトテイストの方が受けいいし・・・

はなだ それ誰のキヤラ？ その、自称演劇評論家風、無責任発言は？ それに、ポータンツを「ポータンツ」みたいに、しり上がりに発音するな！ 何か癪にさわる・・・

神様 とにかく身軽に、ライトに、そしてネイキッド、すなわち裸じゃ！

はなだ お前ひとの話を・・・

神様 裸というのは、ちよつとイメージ違うの・・・ おお、そうじゃ、これじゃ！ これしかない！ 夏だしの・・・ うんうん・・・

はなだ お前、何一人で納得しちゃったりしてるわけ？

神様 だから、この公演のよいキャッチフレーズを思いついたということじゃ。

はなだ キャッチフレーズ???

神様 夏だ！ 芝居だ！ 出て来い『裸足の Bötanz』！

はなだ はあ？

神様 裸足「の」じゃなくて、裸足「で」の方がよいかの？

はなだ そういうことじゃないだろ・・・

神様 じゃあ、決まりじゃ。「夏だ！ 芝居だ！ 出て来い『裸足の Bötanz』」これでよろしく頼んだぞい。

と、消える神様。音響とスポットライトも消え、一人舞台に取り残される、はなだ・・・

はなだ おい、神様！ 神様あ！ 何なんだよ、一体。頼んだぞいつて・・・ (感慨深げ

に)「夏だ！ 芝居だ！ 出て来い『裸足の Bötanz』」(と、吹き出して)あほくさ。やつてられっか、俺は我が道を行くつてやつよ、ぶあくあ！ 演劇の神様だか何だか知らねえが、おととい来いつてんだ・・・(ふと、天を仰ぎ見る)

あれ？ まだいらつしやったんですか？ 雲の切れ間から顔を半分だして、覗いてらつしやるの・・・ シヤイ・シヤイ・ボーイなの？ それとも、星飛馬のねーちゃんのまね？ あつ、今ちよつと微笑んじやった？ ちよつとウケちやつたみたい？ でも、目は笑つてないよね・・・ 全然笑つてないよね・・・ 雲がぱりぱりに帯電してるみたいね。また来ちゃうの、「雷」？ 今度来たら、確実に死ぬかも・・・なんか過剰なイオンで、オゾンの香りが充ち充ちてるよ。っていうか、この辺りマイナスイオン全開？ なんか、身体にいいんだって、マイナスイオン？ 「あるある大辞典」で、ほら、なんていつたつけ、あの観葉植物？ トラノオ？ やつぱり来るのね、「雷」・・・

劇場を揺るがすような、雷鳴。フラッシュ閃光。痙攣しつつも、至福の表情を浮かべて崩れ折れる、はなだ。そして、間を置かず、暗転。

たぶん死んだのだろう。この芝居唯一の犠牲者とも言えるが、これは客入れ幕前の「小芝居」なので、本篇とは、関係ないとも言えるし・・・ ビミョーなところだ・・・

暗闇の中、雷鳴が幾十にも重なり合い、うねり合いながら、ゆっくりと減衰していく・・・

音響のフェードアウトに反比例して、劇場中の空気が、本篇の始まりを予感してか、ぴーんと張り詰めていくが分かる・・・

断片 (2)

― 奇妙な夏 ― 暗く深き翠の迷宮 ― 耳を弄するメタルヒット ―

舞台上に一人の女が歩み入る。

女(1) それは、それは、とても奇妙な夏だった…

と、他方より一人の男が歩み入る。

男(2) 霊峰富士を仰ぎ見る、東京からさほど遠くない」とある観光地」。

と、次から次へと役者が一人ずつ現れ、言葉を繋ぐ。

(3) 湖、キャンプ場、そして遊園地。例年なら、この時期、楽しい家族連れでにぎわっていたはずのこの土地に観光客の姿はない。

(4) 実は、昨年から富士山直下で火山特有の低周波地震が多発していたところに、火口直下での微小地震にも大きな変化が起り始め、研究者が騒ぎ始めた。

(5) そんな折も折、富士の湧水池のひとつである菅蒲池の水が濁れるという、超インパクトのある事件が発生！

(6) 連日メディアが騒ぎ立てて、日本全国「この夏、富士山大噴火」って流れになっちゃったって訳。周辺住民の三分の一も逃げ出したって噂もあるくらいだ…

(7) ちょっと待って！ 今、思い出したけど、こんなことって十数年前にあったよね？ 「富士山大噴火」って騒ぎ立てた頓狂なオヤジに日本中が踊らされて… あれ、あのオヤジなんていう名前だっけ？ まあ、いいや、思い出せな

くても…

とても奇妙な夏だった…

霊峰富士を仰ぎ見る、東京からさほど遠くない」とある観光地」。

この富士山の北斜面は広大な原生林となっている。生い茂る樹木の根や突き出した溶岩で、足場の悪い地面。昼なお暗い森の中、判で押したような風景が見渡す限り広がっている…

人つ子ひとりいない。一匹の犬も一羽の鳥もない。こんなに暑い夏だつていうのに、セミすらも鳴いていない。何者も寄せ付けぬ静謐(せいひつ)なる王国…

三千ヘクタールにわたる広大な原始の森。それはまさに、「暗く深き翠(みどり)の迷宮」…

舞台上に散在している役者が、肺に残ったわずかな息を出し切るかのよう、声を揃え発語する。

全員 *Labyrinthus viridis* (ラビントウス・ビリディス)

と、叩きつけるように、大音響でインダストリアル・ビートが流れ出す。

同時に舞台上に大きく投影される「暗き翠の樹海」の中を駆けずり回るかのとき映像。コマ落としの疾走感。間欠的なメタル・ヒット。荒い呼吸。慟(うな)哭(なき)にも似た呻(うな)き。乗り物酔いでも誘発しそうな、絶えず揺らぐ映像。突然、何の脈絡もなくあがる叫び声。拳で殴打される床…

唐突にとぎれる音楽。

散り散りに退場する役者たち。

舞台上に立ちつくしている一人の女…

断片 (3)

― 富士急行河口湖駅 ― 第一次選考合格 ― サイバー? ―

舞台の上に一人の女。キャサリン大塚である。ポケットからくしゃくしゃになった紙切れを取り出し、凝視している……

大塚 (腕時計で時間を確かめ)……まずいな、十分遅れか。集合場所、富士急行河口湖駅改札。集合時間、十時……(紙の裏を見て)これしか書いてないもんな。これつて、遅れちゃったら、連絡の取りようないつてことじゃん。一生の不覚だな……十分待つてだめだったら、ほうとうでも喰つて帰るとするか。まっ、縁がなかったつてことだね……

と、舞台袖から女西岡花梨が飛び出してきて、大塚に激突する。驚くが、瞬時に反撃態勢を整える、大塚。カルチャースクールで目下勉強中の「太極拳」の構えだ……つてそんなことをやっているのか、きみは?

大塚 なに奴?

西岡 (香港映画の老師風のキャラが入っているようです)ほお、太極拳か? 何処で覚えた?

大塚 大田区民センターのカルチャースクールで……つて、お前、花梨ちゃんじゃないの!

西岡 (すでにキャラは飛んでいます)お久しぶりです、晴子さん。

大塚 その「晴子さん」は、やめる。今は「キャサリン大塚」つて芸名なんだから……いいじゃないですか。「ワン・ナイト・シンデレラ」で一緒にやっていたときは、ずっと「晴子さん」だったじゃないですか? それに、本名「晴子」なんだし……

大塚 捨てたんだよ、その名前。「ワナ・シン」やめたときにね。今じゃ銀行口座だつて「キャサリン大塚」でおしる。

西岡 まじですか?

大塚 まじです。婚姻届だつて、この名前を出すつもりだよ。

西岡 えっ、婚姻届! じゃあ、とうとう? おめでとうございます。

大塚 いや、それは相手がいればの仮定の話で……ずーんんん落ち込んでいる)はっ?

大塚 しまった、触つては行けない傷を自ら突いてしまいましたつて感じた。とにかく、今はキャサリンなんだから、キャサリンつて呼んでくれ。

西岡 じゃあ、キャサリンさん

大塚 そのキャサリン「さん」つていうのもな……まあいいや、それで。時にお前なんでこんなところにいるの?

西岡 (不敵な笑みを浮かべ、紙切れを差し出す)ふっふっふ、キャサリンさんと同じですよ。

大塚 それは一時選考合格通知書! て言うことは、オーディション?

西岡 ギッツ・ライトオ! 昔は師弟関係だった二人が、ひよんな事から、敵味方に……此方、「ワン・ナイト・シンデレラ」の看板女優、其方「三流劇団ぼを・たんつ」の、看板女優対決つてことに。「昔の友は今日の敵」つて展開です……

大塚 ちよつと待て、お前「ワナ・シン」の看板か? 座長の岬由里架がそれ聞いたら卒倒するぞ。それに、人の劇団「三流」つて言うなよ。かちんとくるだろ?

西岡 あれ? 「ぼを・たんつ」つて正式名称が「三流劇団ぼを・たんつ」なんですよ? だつて、チラシにもいつもそう書いてるし……

大塚 そりやそうなんだけど……ほら、よく言うでしょ、「バカにはバカつて言うな」つて。思い当たるフシがあると、傷つくから。そんな感じで「三流」つて言われると、私の胸の一部がしくしくと……

舞台袖から一人の男。仲根和彦である。

仲根 よお、三流劇団ぽを・たんつ！

大塚 (勢いよく、声のする方を振り向き)そこにもいたか！ あたしの壊れやすい心を傷つけようとする輩が！

仲根 久し振りだな、キャサリン大塚。

大塚 (その男の正体に気付き)あつ、仲根さん！ 前々回の公演ではお世話になりました。

仲根 いえいえ、こちらこそ。満足な客演もできませんで…… しかし、まさか、キャサリンまで来るとはな……

大塚 ということは、仲根さんも、オーディションに？

仲根 ああ、何故か分からないけど、選考通っちゃって……

大塚 おめでとうございます。

仲根 お互いにな……

大塚 (はつと気付き)とするとだよ。オーディションのバスはまだ出発してないってことだよ。よかった、置いてきぼり喰わされたかと……

西岡 バス？

大塚 だから、オーディション会場に参加者全員乗っけて……

仲根 バスなんて言っても…… (西岡に同意を求めて)なあ？

西岡 うん。そんなバスをチャーターするほどの人数じゃないみたい……

仲根 どうやら、お前含めて、全部で6人。

大塚 6人！？

仲根 俺たちはひとつ前の電車で来たんだけど、それには5人しかいなかったんだよ。それで、大半の連中は十分遅れの次のヤツで来るかもしれないと思って、出発を遅らしたんだよ。

西岡 ま、仲根さんの独断なんだけどね……

仲根 でも、降りてきたのは、キャサリン一人…… 結局、あいつの借りにいったレンタ

大塚 カー一台で事足りちゃったな……

大塚 あいつ？

仲根

ああ。そいつの合格通知書にだけは、俺たちとは別の指示がしてあったんだと、「レンタカーで精進湖登山口の駐車場まで来い」って…… (時計を見て)そろそろ、車持ってもどつてきてもよさそうな時間なんだが……

西岡

(遠くを見て)あつ、あれじゃない！ あの黒いバジエロみたいなもの。

仲根

ああ、あれだな。(大きく手を振り、車に合図する)おい、こつちこち！……花梨ちゃん悪いんだけど、さっきの喫茶店にいつて、残りの奴等、呼んできてもらえるかな？

西岡

うん、いいよ。

駆け出していく、西岡。

大塚

仲根さん、他の人達って、どんな劇団の？

仲根

……凄いや、みんな。

大塚

す、凄いつて？

仲根

まっ、会つてのお楽しみということ…… 時にお前、「Burnin. Chrome 00」って劇団知ってるか？

大塚

噂だけなら。ばりばりのサイバーパンクSF劇団でしょ。たしか、脚本書いてんのが理学博士だったか、国立研究所の科学者とかで。セリフがさ、学術用語やカタカナだらけで、観客の大半が内容を理解できないつて……

仲根

俺、見たことあるけど、その通りだった。でも、感心したよ、あそここの役者には…… あんな「見たことも聞いたこともない言葉」をよく覚えられるもんだつて……

大塚

そんだけかい！

とにかくマシンガンとか爆弾とか大好きでさ…… ずっかん、どっかん、ずっかん、どっかん…… 実際、登場人物の9割が劇中で死んじゃうんだ。

大塚

えぐいね……

仲根

それも毎公演……

大塚

かえすがえす、えぐいね…… でも、何で今、そんな話を？

と、ブレーキの軋む轟音。仲根が「危ない」と叫び大塚を引き寄せる。間一髪で、車は脇をすり抜け、二人の背後に停止したようだ。

大塚 あぶねー、今、黒い。パジェロのあいつ、私をひき殺そうと……

仲根 違う。紙一枚で見切つてやっているんだ。さすが、「Burnin. Chrome 00」！なにせ、デンジャラスでワイルドな野郎だからな……

大塚 まさか、あの人？ 後ろ振り返っちゃだめなの？

仲根 まだだ、ヤツに主導権を握らせておいた方がいい。「Burnin. Chrome 00」は「登場」が「舞台上で死ぬ」次くらいに大切らしい……

背後に後ろ向きに立っている黒ずくめの男。

かちやりとドアの開く音に呼応して、男がくるりと振り返る。

まさにサイバーパンク、無駄な装飾と過剰な武装……

かちりと言うオイルライターの蓋の開く音。ヤツがタバコに火をつける。

大塚 振り返っていい？

仲根 ああ、ヤツはタバコに火をつけたこの状態で、俺たちが振り返るのを待っているはずだ。

大塚 (振り返り)「ぼを・たんつ」のキャサリン大塚です。遅れてごめんなさい。

「いいんだ」という、デジタルっぽい男の声。オイルライターの蓋が閉まると同時に、ライターは脇腹のプロテクト・ギアの中に、まるで吸い込まれでもしたかのように、消えていくのも、またサイバー。

思わず拍手をしよう大塚。

大塚 すげー、サイバーちゃん！

男の声、「俺は Burnin. Chrome 00 の……」

タバコをもう一口吸い、深く息を吐く。

大塚 かっこいい。さすが「Burnin. Chrome 00」！ 吸い方までサイバー。

男の声、「俺は Burnin. Chrome 00 のアレックス v2000」

大塚 (アレックスにも度胆抜かれたが、芸名でv2000はねえだろう！ あつ、今思い出したけど、確かこの劇団の看板女優の芸名「860666」っていうんだった。数字だけかよ！ それで君達は満足なのかよ！ 一体、サイバーってなんなんだよ！……よろしくね、アレックス v2000。名前もやっぱりサイバーね……だめだ、笑いがこらえきれない！)

ふと、横を見ると。仲根さんも声を殺して笑つていやがる。耳を引っ張り小声でささやきかける……

仲根 痛で、痛で……

残りのほもつと凄いの？

大塚 会ってみてのお楽しみ。(ふと遠くを指さして)ほら、花梨ちゃんが連れてきたよ。

大塚 (それを見て、ぎよつとする)こいつは凄くなりそうだね！

仲根 でも、このシーンはこのへんで終わつておこよう。

仲・大 お楽しみは小出しにした方がいいよね、アレックス？

大・中 (知つてか、知らずか)ああ。

恥ずかしくなってきたんで、唐突に暗転。

断片 (4)

— 久米田さん — イッセー緒方の一人芝居!? — 似た女 —

舞台上につばの付いた帽子をかぶった男が現れる。河口タクシー号車運転手、久米田さんである。右手に通信機らしきものを持ち交信してる風……

久米田 ……こちら3号車、2号車どうぞ、チシツ。…おー、工藤ちゃん。いま、どこ？ 富士吉田、流してんのか？ で、どうよ？ チシツ。…なにいい、ぼちぼちだあ？ こっちなんか、ぼちつとも来ねえよ、チシツ。…いねえ、いねえ、お客なんてなんにもいねえつてーの。始発から勘定して、降りた外からの客6人つてこよ、チシツ。…そうそう、あとは顔見知りばつか、チシツ。…んつ、なに？ ……おうおう、その6人か？ 近くのレンタカー屋で車借りて行っちゃったよ…んつ？ 若いのぼつかり…いたよー、きれいどころ…乗せ

たかったねー…最後の6人目は駅の出口のところ一人で突っ立ってて…いや、声かけようとした途端…そうだよ、トンビに油揚げつていうか、端っから縁がなかったつーか、そんなもんだよう…んつ、なに？ 「お前そんな風に一人でしゃべつてると…」…んつ、なんだつて？ 「一昔前に流行ったイッセー緒方の一人芝居みたいだ」…おいおい、何言ひ出すんだよう。お前、そんなこと言ったら、マジでマネしなきゃならなくなるだろー。やめてくれよー。ちよつと、もじもじしちゃうだろー…それでな、その6人つて言うのが、また、揃いも揃って、河口湖には似合わない奴等なのよ…あー、もうぜんぜん。レンタカー運転してたのが…ぴちつりがつちり、いろんなところに…

舞台袖から、アレックスが登場。車のドアを開け(かつこよく)、キーを指でく

るりと回し、キーホールに叩き込むと同時に、一発でエンジンを始動する。

久米田 ……なんつーのかね？ あーゆーファッションは？

久米田 ……サイバーパンク。

久米田 よくわかんねーな。

久米田 ……だから、サイバーパンク。

やつぱり、なんつーか、おっちゃんにはよくわかんねーな…それでな、そのあとに乗り込んだのが…なんつったけ、ほら？ 何とか娘？ その中でも混じつてそうな奴。

ふにやふにやした音楽。ちよつとあごが外れそう…

賀茂愛、小走りで登場ついに Outreach 舞台中央で可愛くシナを作る。

はじめまして、賀茂愛です。「愛ちゃん」って呼んでにや。

久米田 ……だから、何とか娘だよ。ほら、「も」で始まって「娘」で終わる。…はつ？

「桃尻娘」!? お前、いつの時代の人？ そりや、「竹田かほり」だろ？ にかつロマンポルノだろ？ 誰が覚えてるんだよ。つていうか、おやじギャグとしても、かなりレア系？

賀茂 おつさん、「モーニング娘。」やろつ！ ぼけえ！（ちよつとドス効いてます）

久米田 「モーニング娘。」だよ、「モーニング娘。」…そうそう、それぞれ。知ってる

久米田 ちゃんか、お前…

愛ちゃんは、事務所系？にやんだけど、よく客演とかしてるから、三流劇団の人とはお友達にや！ よろしくにや(はーと)。んーと、愛ちゃんはアレックスの隣にや…

と言うが早いか、アレックスの隣を陣取る賀茂。

久米田 ……でなあ、その次に現れたのが…

尺八の咽ぶような音色、そして、三味線の叩きつけるようなストローク。照明ががらりと変化する。

バックサスの中、しゃなりと現れるその女。かの艶華劇@JONGARA 艶姿のきれいどころ、花吹雪小春である。

んでもって、何故か舞台袖にしゃしゃり出た仲根と西岡によるナレーション……一節、一節、見栄を切ってるぞ、こいつら、何故か……

あと、決めのところで「カーン」ってなる奴（なんて言うのか分からないけど、拍子木じゃなくて、ほら、木製のカウベルに、バネの先に玉付してる付属品がついてて、サブちゃんの「自作」でも、頻繁に用いられていたあの打楽器のこと）が小気味よく、打ちならされるはずだ。

仲根 喧嘩が江戸の華ならば、摘まねばならぬが悪の華。

西岡 悪人退治のどさ回り、独りぼっちで西から東

仲根 黄門様には助・角が、はなれ瞽女には三味と杖

西岡 飛車角落ちの捨て鉢将棋、極悪非道の悪の王駒を

花吹雪 詰めるものなら、詰めましょう

仲根 光はなくとも、その先の、心の灯火（ともしび）守るため

西岡 太竿三味の仕込みの刃

花吹雪 じよんがら弾いて悪を斬る……「はなれ瞽女・お竜」ここに推参！

花吹雪、抱えた三味を逆手に持ち替える仕草。

花吹雪 ……大黒屋徳兵衛、あんたの悪行、ちと目に余るぜ……いや、あたいは盲めしいのはなれ瞽女、耳に余って仕方ねえんだよ！

三味線の竿から仕込み刀を抜き、袈裟がけに斬りつけ、そしてさやに納める。

花吹雪 悪斬る音は、嫌な音だぜ……

感動して拍手する、仲根と西岡。

西岡 かつこいすね、花吹雪さん。

花吹雪 気持ち悪いね。小春でいいよ。

仲根 観ちゃったよ、生「お竜」。

花吹雪 ちよい待ち。「生」ってあんた、いつも観に来てるだろ、うちの……

仲根 そりやお前、舞台と客席だろ？「生」感覚が違うちゅーとんのよ。

久米田 ……って感じなんだよ。そりや、驚くって。なんかどさ回りやつてるみたいだから、吉田か大月辺りにでも来たら、観にいらな……なんだって、「芝居と

かそいうのよくわかんねえ」って？あんな、想像するだに、「水戸黄門」と

「座頭市」足して二で割って、おねいちゃん主役でやつてるようなもんだろ？

「座頭市」足して二で割って、おねいちゃん主役でやつてるようなもんだろ？

感心して、突っ込む三人（花吹雪・仲根・西岡）、

「おっちゃん、するどいね！」

花吹雪 それにストーリーなんか、毎回「水戸黄門」パクってるだけだからね。そりや

西岡 あ、一般受けするわな、ははは……

花吹雪 そうなの？

西岡 そう言われれば、そんな気もするね。

仲根

遊んでいるみんなにシビレを切らしちゃうアレックス。

……そろそろ出発した方がいい。小春、助手席に乗ってくれないか？ちよつと邪魔な奴がいるけど……

花吹雪 わかった、乗るよ。愛ちゃん、ちよつときつくなるけど、辛抱な……

賀茂 愛ちゃんは「ちっちゃなかわゆい」から、だいじょうぶにや。

西岡 (ひとりごちて)「かわゆい」はかんけーねーだろ

二人は後ろに乗ってくれ。

二人、突っ立ったまま……

どうした？ 何故乗らない？

いや、なんか、「紹介みたいな」そんなものがあるような気がして……

紹介？

……そんな。他の二人は……

来た、来た……(ちよつときどき)

どうでもいいんだけど……

うううつ……(膝小僧を抱えて泣く二人)

列車ひとつ遅れて到着した女が……

大塚登場する。

久米田 ……そう、「声かけようとした」ってさつき、言っただろ？ そいつが……いや、

だから……似てるんだよ。ほら、十数年前もこんな事あっただろ……富士山が大噴火するって言うデマが流れて……そうそう、俺がこの会社に入り立ての

頃……こんな風に観光客が来なくなっちゃって……そんな時に、一人の女を

乗せたことがあってよ。だから、その女と……何て言うのかな、似て……

ん？ どうした？ 客拾えたんか？ そりゃよかつた。じゃあな、またあとで、

通信終了、チシッ。(腕時計を見て)……つたく、次の電車の到着まで、後二十

十分もあるしねえ……どうやって暇潰すかね……(ふと、遠くを見つめて)

さつきの遅れてきたおねえちゃん、なんて呼ばれてたっけ？

早く後ろに乗りな。キャサリンもな。

久米田

(思い出して)そう。キャサリンって呼ばれてた……あだ名にしても変な

の……まつ、いつか……

仲根・西岡、キャサリンとともに後部座席に陣取る。

久米田

さてと……(右手に持った通信機を見つめ)……はい、こちら3号車、5号車どうぞ、チシッ。……おー、鈴木。いま、どこ？ 富士吉田、流してんのか？

で、どうよ？ チシッ。……あつ、ぼちぼちだあ？ こつちなんか、ぼちつとも来

やしねえよ、チシッ。……いねえ、いねえ、お客なんてなんにもいねえつてーの。

始発から勘定して……

久米田、楽しげに通信しながら、退場する……

久米田

さあ、いくぜ。舌嚙むなよ……

ハイパーなエンジンの咆哮。黒いパジロが、サイバーに発進する。

断片 (5)

— びりびりの合格通知書 — 完璧なる偽造 — 丑三つ時の格闘 —

走り出した車。物凄い加速で全員の頬が引きつっている。

賀茂 ……キヤー、凄い加速にや！。アレックシュー…

アレックシューではない。ただしくはアレックスだ。

いいじゃにやーきや、アレックシューで、その方が、呼びやすいにや。

…好きにするがいい。

賀茂 なんかちよー洪いにや！

花吹雪 なあ、アレックス。お前方向大丈夫か？

大丈夫。俺は常にアメリカの軍事衛星にアクセスしている。

自らの腕を指さす、アレックス。腕に巻きついているけったいなギア。花吹雪、それをまじまじと見つめて…

花吹雪 GPSか？ それ、軍事衛星の信号をキャッチしているわけじゃあるまい？

ものは考えようだ…

花吹雪 は？

賀茂 なんだGPSって？ かつこいいにやー、これ。ちーだい、ちーだい…

と、賀茂、アレックスにちよつかいを掛け始める。アレックスが運転をしているだけにちよつと危険。

前部座席と後部座席が舞台上で上手、下手に分離していく。そして、後部座席側の三人に明かりが入る。

西岡

…にしても、キャサリンさん。その通知書、なんでびりびりになってるんですか？

仲根

ほとんどだ、破れた上にテープで補修してある…

大塚

これ？ まあ、昨日の夜、ちよつとしたことがあってさ…

西岡

ちよつとしたこと？

大塚

うちの劇団に、木暮崎剣っていうのがいるだろ？

西岡

「看板男優」っていうあだ名の？

大塚

「あだ名」って言うなよ、かわいいそうに。「一応」看板男優なんだからさ…

仲根

「一応」もかわいそうだろ…

大塚

とにかくそいつがさ…

舞台袖から、転げ出てくる黒ずくめの男。木暮崎剣だ。手に紙切れを持っている。何故か、「ミッション・インポッシブルのテーマ(リンプ)のやつ」が流れている。それに合わせるかのような機敏な動き。つていうか、トムクルーズ？ そうなの？？

木暮崎

…まったく、無防備な女だ。こんな大切な通知書を、口のぼっかり空いたバッグに、さも取ってくださいと言わんばかりにほうり込んでいるんだからな… なが、「今夜は私のために、壮行会開いてくれてありがとう。」だ！ 「明日からは河口湖なの…」だ！ 「ねえ、映画のオーディションってどんなことするんだと思う？ ……あつ、すいませーん！ 生中三つに、鳥の軟骨揚げとゲキウま・鶏モツサラダをひとつずつ」だ！ いい気になって、ビールなんか飲みくさりやがつて… この俺が、虎視眈眈とお前の通知書を狙っているとも知らずに… 「虎視眈眈」…こし、たん、たん… なんかリズムミカルな言葉だぜ！ ともあれ、平成のトムクルーズ、木暮崎剣様が、キャサリンがトイレに立った一瞬の隙を突いて、(人指し指と中指に挟み込んだ紙切れを、これ見よがしに、目の前にかざす)ミッション・インポッシブルしちゃったって訳。(MF)からの指令風に)…おはよう、木暮崎君。次なる君の指命だが、キャサ

リンから奪った「合格通知書」を君の名義に変更することだ。幸い君の劇団のアトリエには、コピー機から砂消しゴムにいたるまで様々なツールが揃っている。例によって、せっかく奪ってきた「合格通知書」が砂消しゴムによって修復不可能なまでに破れちゃっても当局はいつさい関知しない。なお、このテープは5秒後に自動的に消滅する……

木暮崎の手のひらの中で、何かがシユバつと消滅する。頭に乗せていた「ルーペ」の付いたサンバイザーみたいなもの(ほら、よくあるじゃん。細かい仕事をするとときに使う、拡大鏡付きのヘッドバンド状の……もう、わかってくれよお)を額まで引き下げ、通知書をのぞき込む……

木暮崎 ……MS明朝、11pt ポイント。ふつ、一般的なフォントだ。それに、プリンタの解像度は 600dpi と言ったところか……これなら、そんなしょこらのPCで、どうにかなるだろう……とりあえず、キャサリンの名前を砂消しで削っておくか。んーと、砂消しは何処だ？ 砂消し、砂消し……

机の引き出しや、ペン立ての中を引っ掻く回す仕草……その傍らに大塚が立っている。

大塚 はい、砂消し。(と、木暮崎に手渡す)

木暮崎 (受け取って) おっと、思にきるぜ。さてと、ここはとにかく重要だ。息を詰めてやっとかんとな……

大塚 何やってんの？

木暮崎 何やってるのって、見れば分かるだろ……

ついに大塚に気付く、木暮崎。「ミッション・インポッシブルのテーマ」も、情けなくフェード・アウトしちゃう……

木暮崎 あれ？ キャサリン、何でここに、いたりしちゃったりしてるわけ？

大塚 剣。とりあえず返せ。

木暮崎 何を？

大塚 それを。あした必要になるから……

木暮崎 何で分かった？

大塚 壮行会の会場から、さっきまであったはずの通知書が消えた。同時にあんたも消えた。誰が考えてもこういう展開だろ。返せ。

木暮崎 やだ。

大塚 やだじゃないだろう。その名前、書き換えたところでどうにもなりやしないだろう？ 剣ちゃんが行ったところで、「誰っすかあんた？」って言われるのが落ちだつて……

木暮崎 そんなときや、「キャサリン大塚です。」というもん。

大塚 お前にはプライドとか、ないのか？

木暮崎 あるよ。おおありだよ。看板役者としてのプライドが……だから、こんなアソビバレントでダブルバインドな状況におかれてるんだろ？ 俺も出しときやよかつたよ、この募集にさ……でもよ、俺って看板だろ？ 看板だったら、そんな雑魚どもと一緒にのオーデイションなんか受けるわきゃねーだろ？

大塚 剣ちゃん……

木暮崎 分かったよ……

木暮崎が、通知書を差し出す。大塚がそれを受け取ろうとしたその刹那、何という運命の悪戯か、通知書がピリッと破れちゃったの……

「あつ」と小さく叫ぶ、二人。電光石火の早業で、それをメンディング・テープで補修する、木暮崎。きれいにしわを伸ばして、大塚に渡し、背を向ける。

木暮崎 (背中を語る)……すまなかつた、キャサリン。オーデイションがんばれよ。そして

ビッグになれ。俺は俺で、他のやり方でビッグになつてやる。機会があつたら、また会おう。今夜はお前の前祝いを兼ねて、酒でもかつ喰らうさ。あば

大塚
よ……
あばよって、剣ちゃん。わたし、帰ってくるし……もう……

大塚、仲根と西岡のもとにすでに戻ってる。

仲根
剣らしい話だ。まっ、奴にも奴なりの悩みがあるんだね……

大塚
根はいい奴なんだけど、真っ正直に傾いでるんだよ、性根が……

西岡
でも、なんか、可愛いですよ。

大塚
可愛い？ 剣が？

西岡
うん。

大塚
じゃあ、つき合ってやれよ。

後方で、立ちつくしている木暮崎が、ぼそりと呟く、

「よしてくれ、おいらの連れ合いは『トラブル』だけって、決めてんだ」

振り返り、木暮崎に向かい叫ぶ三人。

「まだ、いたんかい、お前！」

小意気に手を振り退場する木暮崎……

西岡
……あの、剣さんのことは、「後ろ向きに検討」してみます。

仲根
「前向き」じゃないのか!?

と、唐突に、ぶるつと震える大塚。

仲根
どうした、キャサリン？

大塚
急に悪寒が走った……

西岡
きっと冷房強すぎんよ。あたしだって寒いもん。(前の席に向かつて)ねえ、
賀茂さん、ちよつと冷房緩めてもらえる？

賀茂は、さっきから運転中のアレックスにちよつかいを出し続けている。アレックスもまんざらでもないという風に受けるでもなく、流すでもなく……

西岡
ねえ、賀茂さん！

賀茂
誰のことにや？ あたしのことなら、「愛ちん」って呼んでくれなきゃ、いやにや。

西岡
(今にも切れそうだが、持ち前のバランス感覚でこらえる)じゃあ、「愛ちん」、冷房緩めてもらえる？

賀茂
なんでー？ 愛ちん寒くないにや。つて言うか、今、アツアツにや。

西岡
(持ち前のバランス感覚で……)でも、キャサリンさんが寒気がするつて……

賀茂
きつと風邪だにや……

西岡
(持ち前のバランス感覚が……)てめえ！

いきり立つ西岡をなだめる仲根。

花吹雪

まだまだ、若いね。花梨ちゃんは……いちいち目くじら立てちゃつて。まだ道中のとば口に立ったばかりつて言うのに、喧嘩はねえだろ。分かった、あたいがクーラー緩めるよ。

西岡
小春さん、ありがとうございます。

花吹雪
こんなもんでいいかい、キャサリン？

大塚
(肩を抱いたまま、ぼーつと前方を見つめている)

大塚
どうした、キャサリン？

仲根
この悪寒は、クーラーのせいなんかじゃない……

仲根
はっ？

大塚
この悪寒は、きつと……剣ちゃんのだ……

西岡
剣さん？

大塚
何故か分からないけど、剣ちゃんが近くまで来てる。そんな気がする……

「はっ？」と言う顔の仲根、西岡そして花吹雪。賀茂は飽きもせずアレックスにちよっかいをかけ続けているが……
舞台は急速に暗転する。

断片 (6)

― 富士急行河口湖駅 ― 誰もいない街 ― 気さくなタクシーの運転手 ―

舞台中央にボストンバッグを小意気に抱えた革ジャン姿の男が立っている。三流劇団ぼを・たんつの看板役者であるところの木暮崎剣である。心細そうに、まわりを見回している……

木暮崎

……あーあ、やっぱり遅刻だよ。みんな出発しちゃったって訳ね。ほんと失敗しちゃったな。昨日の夜、しこたま飲んでしまったもんな、それも、あの店で……あそこは焼酎に工業用エタノール混ぜてるな、あと目薬とか。それじゃなけりや、この「踵落とし」でも喰らったような頭頂部の異様な痛みは、説明できんだろう？

「アドリブ、二分三十二秒」

……にしても、こんな大切な時に、俺ってヤツは！ 一人じゃどうにもならんしな。あーあ、どうしようかな……誰かに聞いてみるか、(と、まわりを見回すが)……なんだよ。誰もいやしねえじゃん！ まさにゴーストタウンって感じだな……まあ、電車の中でも独りぼっちだったしな……

舞台後方に、男が現れる。白いワイシャツに、くたくたのネクタイを巻きつけた、タクシーの運転手(久米田)である。木暮崎の後方に音もなく忍び寄り……

久米田

よお、暑いね。

木暮崎

(びっくりして、飛びあがる)

久米田

(何故か、大層喜んで)はははっ、びっくりしちゃった？ びっくりしちゃったよね？

木暮崎 つたりめーだろ！

久米田 ごめんごめん。なに、東京の人？

木暮崎 ああ。

久米田 仕事か何かで？ それとも観光？ ……観光つてことはないか。この折も折に…

木暮崎 この折も折つて？

久米田 「富士山大爆発」の噂。それで、今年の夏は、観光客が「ばったり」つてわけさ…

木暮崎 あー、テレビでも特集組まれてたな。でも、「富士山大爆発」つて、ほんとうに？

久米田 私は平気だと思ってるけどね。ほら、テレビは大げさに騒ぎ立ててるからさ。

「低周波地震が頻発」とか、「富士山火山口付近での微小振動に大きな変化が！」とか、「忍野八海の菖蒲池が渴れた！ これは大噴火の前兆か！？」とか、おもしろおかしく、ブチ上げちゃうから… 観光客つて言うのは、そういうのに敏感でしょ？

木暮崎 ああ。でも、湧き水が渴れちゃつたつて言うのは…

久米田 ああ、渴れた、渴れた、見事にね！

木暮崎 うれしそうに言うなよ。

久米田 でも、菖蒲池は年々で水位が変わつてたからね… ああ、そうだ、せつかくだから観ていく、忍野八海？ 見事に渴れた菖蒲池に、湧池、出口池、お釜池、濁池、鏡池、底抜池、銚子池… 安くしとくから…

木暮崎 安くしとく？

久米田 うん、タクシーの料金。

木暮崎 タクシー？

久米田 私の格好、どう見たつてタクシーの運ちゃんでしょ？（指さして）ほら、向こうの「河口タクシー」つて書いてある緑色の車。一台だけ、ぼつーんと…まあ、お客が来ないもんだから、エンジン切りっぱなしだけど… 大丈夫、今エンジンかけて、冷房、かっつ入れるから、すぐ冷えちゃうから…

と、車に向かって駆け出そうとする久米田を木暮崎が制す。

くら、誰も乗るなんて言つてねーだろ！

まあ、お願いしますよ。ここ一週間というもの、暇で、暇で…

あんな、そんなに暇なら、近くの街で稼げばいいだろ、富士吉田とかさ…

あんなね、確かに他のタクシーはみんな近くの街の方へ出払つてるけど。それで、私まで外に行つちやつたら、河口湖には一台のタクシーも無くなつちまうだろ？ いいのか、それで？

いいのかつて言われてもな…

（熱く語り始める）いや、よくない！ 河口タクシーは河口湖のためのタクシー

なんだから、ここ河口湖駅にいなきゃならないんだよ。例えお客が一週間で、たつたの一人であつたとしてもね。

（運ちゃんの熱い語りに、ちよつとほだされちゃう）…あんな、見かけによらず、骨太なところあるな。

（急に、へなへなになり）これ、私じゃなくて、会社の方針なんですけどね。

…

じゃあ、行きましようか。大丈夫ですよ、ちよつと回つて、すぐ河口湖に戻つてきますから。仕事もこの辺りなんでしょ？

いや、あの…

ほら、折角だし。ちゃんと目的地まで戻つてきますから… その先の街の方でしょ、目的地は…

ひとつ聞いていいか？

料金なんて…

料金じゃなく… 青木ヶ原樹海つて近いの？

は？

青木ヶ原樹海。

樹海ですか？ ええ、すぐですよ。

木暮崎 歩いていける？

久米田 はっ？

木暮崎 だから、歩いて行けるのか？

久米田 いや、車じゃないと……

木暮崎 じゃあ、そこまで乗せてつて。

久米田 ええ、でも、今は氷穴とか風穴とか面白そうなところは、全部締められちゃつてるし、売店も……ほら、こんな時だし……そうだ、じゃあ、車で西湖の紅葉台の近くまで行つて……

木暮崎 俺は樹海に行きたいの。

久米田 樹海つて言つても、ねえ……

木暮崎 とにかく、そこが目的地なんだよ。

久米田 へっ？ 樹海が目的地？

木暮崎 うん。

久米田 まさか、あんた？（ゆっくり後退る）まさか……

木暮崎 どうしたんだよ？

久米田 まさか、あれじゃないよね？

木暮崎 なんだ、あれつて？

久米田、靴（たぶんハイヒールのつもり）を脱ぎ、それを片手に下げて、放心したようにさまよい歩く仕草。

木暮崎 どうした？

久米田、枝ぶりのよい木を思い詰めたように、見つめる仕草……

木暮崎 どうしたんだよ……

久米田、懐からロープを取り出し、手で力一杯引つ張り、強度を確かめる仕草。

木暮崎 どうしたんだよ……

久米田、懐からロープを取り出し、手で力一杯引つ張り、強度を確かめる仕草。

木暮崎 どうしたんだよ……

久米田、懐からロープを取り出し、手で力一杯引つ張り、強度を確かめる仕草。

草。

木暮崎 じえ、ジエスチャー・クイズか？

久米田、こつくりと頷くと、木にロープをかけ、輪を作り、その中に首を入れ、念仏なんか唱えちやったりして、達観したように目を閉じ……という仕草。

木暮崎 じ、自殺？

久米田 ピエンス・プオーン！ でも、だめですよ、自殺は！

木暮崎 あのなあ、この俺が、後悔も反省もしたことがない、この俺が、宇宙は自分を中心に回つてると言つてはばからない、この俺様が自殺なんかすると思

か？

久米田 でも、目的地は樹海だと言いましたね？

木暮崎 目的地は樹海だと、目的は自殺じゃないのか？

久米田 断言できます。

木暮崎 あのな、こんな楽観的な人間が死のうとしてるように見えるか？

久米田 ロウソクは消え入る瞬間、その炎が一瞬大きくなると言います。自殺しようとする者は、得てして明るく振舞うものです……

木暮崎 そうか？

久米田 それに、今にして思えば、この駅に降り立ったときのあなたの横顔はとても

木暮崎 寂しげでした……

久米田 それは、別の理由があったの。

木暮崎 死を決意する理由ですか？

久米田 違つちゆうーの！ いいや、もう。分かった。乗つて行くから、規定料金払う

木暮崎 から、青木ヶ原樹海まで連れてけ。

久米田 ……いけません。死んでどうなるって言うんですか！

木暮崎 死なねえつうの！ 訳は道々話すから……

久米田 ……いけません。死んでどうなるって言うんですか！

木暮崎 死なねえつうの！ 訳は道々話すから……

木暮崎、久米田を押して、舞台袖に消えようとする。
退場しつつも、久米田の説得は続いている……

久米田

生きていけば辛いことのひとつやふたつ誰にだってあるものです。でも、楽しいことだってあるでしょう？ いいですか、死んでしまったら何にもならない。「死んで花見は出来ません」昔の人はいいことを言いました。「花見」それは、人生の中で最も楽しい宴です。ところで、今年の春は「花見」しました？ ほら、今年はすごい早かったでしょ、桜の開花が。いや、私なんかね、あつと気付いたときには……

木暮崎

あーあ……

木暮崎の溜息と同時に、二人とも完全に袖に消えている。

断片 (7)

― 無人の駐車場 ― はめられた？ ― 不自然なおっちゃん ―

舞台の上に大塚、仲根、そして西岡が立っている。
その傍らに、アレックス、賀茂、花吹雪がいる。

仲根

ここが精進湖登山口駐車場か。来るには、来たもの……

大塚

はてさて、これからどうしたものか……

西岡

ねえ、アレックス？ あなたの通知書に書かれてたのは……

アレックス

「ここに来い」と言うことだけだ。

花吹雪

他の奴等には？

花吹雪の質問に、皆、首を横に振る。

花吹雪

ほんと、こんなところでオーディションなんてあるのかい？

賀茂

もしかしたら、イタズラだったりしてにや！

花吹雪

可愛い顔して恐いこと言うな、お前。三流劇団員相手にこんないたずらして

賀茂

喜ぶバカがいるって言うのか？

花吹雪

いるかもしれないにや。愛ちゃんにだって結構「ストーリーキー」なお客さんがいたりして、たまに肝冷やすことあるにや……

花吹雪

そりゃそうだが……三流役者のバカ6人、こんな富士山の裾野くんだりまで呼び出して、それで笑ってお仕舞いつてわけ？

仲根

まあ、冗談だとしたら、かなり上出来か……

大塚

インディーズ・ムービー、出演者募集。監督はあの「能義達哉」。

仲根

能義達哉、かのV.V.G.G.アバント・ガード・ギルド、の幻の名作映画「どこにも

大塚

能義達哉、かのV.V.G.G.アバント・ガード・ギルド、の幻の名作映画「どこにも

仲根

能義達哉、かのV.V.G.G.アバント・ガード・ギルド、の幻の名作映画「どこにも

行けない道」の監督。才能はあるっていうのに、ここ十数年一本の新作も出してない、まさに「幻の映画監督」。うまいところ突いてくるよ。今、売れっ子の映画監督の名前で、この募集がうたれてたら、俺は乗らなかつたらう。ただのエキストラ募集となんら変わるこゝろがねえからな……

大塚 それに、あの手の演劇業界紙に1ページブチ抜き広告を出すだけなら、数万円で済むかもしれないし……

大塚 はめられたわけじゃねーよな、マジで……

全員、「困ったな」って表情で、顔を見合わせる。しかし、西岡一人が、先ほどから、遠くの方を見つめ続けているのだ……

大塚 どうしたの、花梨ちゃん？

西岡 いや、何か、向こうの方に……

大塚 ん？

西岡 とてつもなく「不自然なおっちゃん」が……

大塚 ほんとだ。誰もいないと思っていたら、あんなところに、ぼつんと「お掃除おじさん」が……

皆も、二人の視線の先の人物に気付く……

と、舞台後方に、ほうきを持った作業服のおやじが現れる。

大塚 無人の駐車場に、ほうきを持った作業員。

仲根 言葉で言ったら、そんな異様じゃないんだが……

花吹雪 この状況から考えると、ちと変か？

大塚 そうだな。

西岡 なんか偶然を装いつつ、近づいてきてるって感じじゃないですか？

賀茂 アレックス、声かけてみるにや。

大塚 なせ……

西岡 ロールプレイングなら、絶対に声かけてるところだよ。話しかける「選択してるよね……」

作業員のおやじ、「その通り」と言った感じで、何度も頷いている。

仲根 でもな、ちよと変だし……単なる地元の危ないおやじと言う可能性も……
大塚 そうだな。やめておこう……

おやじのほうきが、はたと止まる。悲しい顔で、小刻みに首を横に振る。

何か、とても悲しがつてるにや。

賀茂 分かり易い奴だな……しょうがねえな、話しかけるか？

何度も頷く、おやじ。ほうきを動かす手も軽快だ。

集められた役者全員、「通知書」を前方に掲げ、そして問う。

「この差出人はあなたですか？」

指を一本立てて、気さくに答える、おやじ。

「違います。」

集められた役者、自らの早合点を恥じ、言葉を返す。

「失礼いたしました。」

仲根 さてと、帰るとするか。

大塚 帰りしな、ほうとう喰って行こ……

大塚 そうだな。

車のキーをチャリリと指で回す、アレックス。

その背後からおやじの声。

「おへ。」

振り向く、みんな。そこにはとても悲しい表情をした、おやじ。

おやじ

結構、淡白なのねー、君達。もう一押しぐらいあるかと思ってたのに……
「そんなはずは、ないだろう。」とか、「シチュエーション的に、お前は不自然だから……」とか、もう一噛みしてくるでしょう？ 役者さんだったら……

アレックス

役者？ どうしてそれを……

おやじ

（勝ち誇ったように関係者、だ・か・ら。

仲根

関係者？ オーディションの？

おやじ

いかにも。では、オー디션会場にお連れいたしましょう。

仲根

オー디션会場ついても何処？

おやじ

（にこやかに、前方を指さす）

全員

はっ？ 樹海の中？？

おやじ

そうです。

仲根

樹海の中でやるのか？ ちょっと待て。俺たち何の準備も……

おやじ

大丈夫です。ちゃんとした会場が設営されていますから……

大塚

設営って、お前……

花吹雪

この樹海の中にか？

おやじ

そう。すんごいのが……

花吹雪

すんごいのか？

おやじ

まっ、行つてのお楽しみといたしたところですか……ぼけつとしているのもなん

なんで、参りますか。

と、おやじ樹海の中へ踏み入ろうとするのを、アレックスが制す。

アレックス

近いのか？

おやじ

すぐそこですよ……

全員、ほっとして、後に続く。

おやじ

早くしないと日が暮れちゃいますからね……

役者連中の足が、びたりと止まる。

全員

今、何て言ったの？

おやじ

日が暮れちゃいますよ、つて……

賀茂

まだ昼過ぎにや。

おやじ

まあ、運が良ければ6時間で……日暮れ前にはたどり着けます。

全員

おい！

おやじ

いい突っ込みです。それにいいチームワークです。では、皆さん、参りましょう。

はい、駆け足、進行！

元氣よく駆け出していく、おっさん。観念してついでいく、役者連中。

一人、走り出さない、賀茂。

賀茂

（独り言のようにすぐそこ、ゆーたがな、ぼけえ。あてに走らす言うんかい、
じょーとー……ふと、アレックスが見ているのに気付いちやつて、かわゆくにな
ん！

アレックスとともに駆け去る、賀茂。

そして舞台は無人とする。

賢明なる読者の諸君でも、絶対に気付かないこととは思いますが、さっきの「不
自然なおっさん」は「滑川史郎」という人らしい。詳細はのちのち明らかにな
つていくことと思うよ……

断片 (8)

― 乗り捨てられた車 ― 原生林のなかへ ― キヤベツワイン? ―

舞台に飛び出して来る、久米田さん。その背後に張りつくように木暮崎がいる。どうやら、タクシーで移動中のようだ……

久米田 ……ということは、映画のオーディションが、この街で?

木暮崎 そうなんだよ。なんか、噂聞いてない?

久米田 聞いてませんね。小さな街ですから、あれば絶対耳に入ってくると思うんですが…… 河口湖のどかい合宿所でも借り切つてやるんですかね……

木暮崎 いや、そうじゃない。俺が掴んだ情報によると会場は青木ヶ原樹海だつて言うんだよ……

久米田 掴んだ情報?

木暮崎 まあ、平成のトム・クルーズ、この木暮崎剣様が、持てるネットワークのすべてを駆使して、掴んだ情報なんだがな…… ここ数日間の携帯電話の通話料のことを考えると、頭痛が再燃しそうつて感じた。

久米田 ……本当に今日なんですか?

木暮崎 ああ、今日だ。

久米田 わたし、朝からずっと河口湖駅にいましたけど、外から人が大量に来たなんて事はなかったですよ。外から来たのは、あなたを含めた7人…… (言葉が不意に途切れる)

木暮崎 どうした?

久米田 ……そう言えば、剣さんを含めて、今日来た外からの、妙な奴等ばつかりでしたね……

木暮崎 面と向かつて「妙」言うな。つと、それはともかく、どういう奴等だった?

久米田 なんつーか、芝居つ気たつぷりつて言うか、丸出して言うか……

木暮崎 もしかして、そいつらの中にキヤサリンと呼ばれる頓狂なねーちゃんがありました。

久米田 ……

木暮崎 何で知つてんの?

久米田 あんまり異様な集団だったんで、ちよつと聞き耳立てちゃいまして……

木暮崎 物好きよのう、おぬしも…… はっはっはっ、それだ、久米田さん。そいつら何処へ?

久米田 レンタカーで、確かにこっちの方へ……

木暮崎 やっぱ、樹海だな……

久米田 そうですかね? それは分かりませんが……

急に左にハンドルを切る。

木暮崎 くら、何急にハンドルを……

久米田 ここ、鳴沢氷穴。今から約千四百年前の貞観六年、富士山の側火山、長

尾山の爆発のとき流れ出た溶岩で出来たとされる洞窟ですね。全長約百

五十メートルの洞内は、厚さ5、6センチの万年氷が張つてまして……

木暮崎 名所案内はいいつて言つてるだろ。

久米田 すいません。いつもの調子がでちゃつて…… いや、そうでなくつて、駐車場に

連中の車がないかと思ひましてね……

木暮崎 そうか! でも、車一台、人つ子一人いねえな……

久米田 そのようつすね…… 売店もしまつちやつてるしね。次行つてみますか?

木暮崎 ああ。

久米田 ……

木暮崎 ……

久米田 ……

木暮崎 確か、能義達哉つて……

久米田 能義達哉? 「どこにも行けない道」の?

木暮崎 知つてんの?

久米田 知ってるもなにも、観に行きましたよ、新宿まで。十五年くらい前でしたが、

今でも鮮明に思い出せる……能義がまた撮るんですか。あの「能義達哉」が……

木暮崎 そんな有名な人だったの？ 他にどんなの撮ってる？

久米田 撮ったのはその一本だけ。でも、能義の凄さを伝えるには、その一本で十分……

木暮崎 そんな凄いやつとは知らなかった。

久米田 知らないで、このこ来ちゃったの？

木暮崎 そーなの、呼ばれてもいないのに……

顔を見合わせ、「はははつ」と力なく笑つちやう二人なの。

久米田 (左手を指さして)あつ、ここ、富岳風穴ね。今から約千四百四十年前の貞観六

年のいわゆる「貞観の大噴火」の……

木暮崎 もう、いっちゅうの。……ここにも、車の影は無しか。

久米田 と言うことは、この先の精進か本栖か……西湖も考えられるか……先に西湖まわつてみますか？

右折する車。不意に二人への照明が、減光する。

逆サイドからあの「不自然なおつちゃん(滑川)」が小走りに現れる。

あとから、ついてくる役者の方々。

仲根 こら、おつちゃん。進む速度、速過ぎ！

滑川 よし、みんな集合。ここから、道を右に折れる……

花吹雪 折れるって、あんた。道なんかないじゃねえか！

滑川 ここは青木ヶ原樹海。道なぞ元々ないんです。ここからは足元、ちよつと危ないですから、皆さん離れないようにお願いしますね……

大塚 (西岡を抱きすくめている)……ちよつと、おつさん。こいつの様子がちと変なん

だ。

(ガタガタ震えて)……いる、何かいる、ここには、いる。私の背後に、そして、あなたの背後に！

どうしたんだ、こいつ？

何か見えちゃってるみたいなんだ……

(ガタガタ震えて)……濡れそぼった長い黒髪。青白い顔。絞り染めのサイケなTシャツに、チューリップハットをかぶった男が。小春ねーさん、あなたの後ろに！

花吹雪

西岡

(振り返り)いないだろ。その七十年代風の出で立ちは、まさに三十年間彷徨うている者の証し。手に、何かを持っている！ あつ、アメリカン・クラッカーかあ！ かち、かち、かちかちかちか……まるで、乾いた骨と骨がぶつかり合うごとき音が、樹海全体を埋め尽くしていく……

花吹雪

仲根

花梨ちゃん、それ、見たいよ。本当に見てみたいよ。どうすりや、見れる？ 何か悪いもんでも、喰ったんか、こいつ？ おつちゃん、ガイドだろ？ こんな時、何か良い手がないのか？

滑川

大塚

首だけ出して地面に埋めなされ。そりや、フグの毒抜きだろ！

花吹雪

仲根

または、犬神・呪いの儀式かあ！ さもなくば……思いつかない(こむ)。しょうがないな。ほれ、この草を噛みなさい。きつと落ち着くだろう。

大塚

西岡

ありがとう。さあ、花梨ちゃん。これを噛むのよ。(目を恐怖に見開いたまま、無言で草を噛む) さすがガイドだね。薬草についても、深い知識が……

滑川

大塚

薬草？ ただの雑草だろ？ 手ごろなやつ、引き抜いて渡したただけだから……

滑川

は？ まつ、かたち、かたち……

大塚 「かたち、かたち」じゃねえだろっ！ 花梨ちゃん「べっ」しなさい。

西岡 ……なに、あなたは手に何を持っているの？ そ、それは、その立方体のもの

は……ルービック・キューブ？ それも「ツクダ」のじゃなくて、ばったもん？

花吹雪 花梨ちゃん。あたしも見たいよ、その幽霊、マジで…

西岡 その六面すべてが完成したときに私たち6人が死ぬ運命なのね……そして、

私たちは、この樹海の中を彷徨い続けることにな…

賀茂 きゃー、足元がごっつで恐いにゃー、アレックシュー、おんぶおんぶ…

（しょうがないな、つて感じで、おんぶしちゃう）

西岡 くらあ、賀茂。なにが、おんぶじゃ！ アレックス、われも、なににおんぶしてん

ねん！

二人に突撃する、西岡。そして、一瞬、勝利の笑みを浮かべるが…

西岡 ……仲根さん。あなたの背後に、一見「落ち武者」ぽいけど、もしかしたら伊

勢戦国時代村の冴えないエキストラかもしれない者の影が見える…

仲根 本当は大丈夫なんだろう、お前…

照明が減光し、退場。代わりに、木暮崎と久米田に照明が入る。

突っ立って、まわりを見渡している、二人。

久米田 ……どうです。絶景でしょ？ やっぱ、ここ紅葉台から見る景色が最高で

すね。（指を差して）あの辺りが青木ヶ原樹海ですよ。

木暮崎 ふーん…

久米田 凄いいんでしょう。富士山麓に広がる、三千ヘクタールに渡る広大な大樹海。

木暮崎 溶岩流の上に、長い年月をかけて樹木が密生したもので…

あんな、久米田さん？ 俺は観光に来たわけじゃないわけ。分かってるんだ

ろうな？

久米田 分かってますよ。彼らを探すんでしょ？ だから、ここから俯瞰的に樹海全

体を把握していただくという魂胆なんですよ…

どんな魂胆でもいいけど、なんか、観光の臭いがふんぷんとするのは、何故？

（左の方を指さして）見えますか、あの鳥居？

ん？（つい指さす方を見ちゃう）

魔王天神社です。経津主命（ふつぬしのみこと）を奉つてるんですが、富士山

にそっぽを向くように立ってるでしょ？ 毎年四月十八日には、約百六十年

前から村に伝わる神楽が奉納されるんですが、それ、保存会の渡辺さんが

中心になって…

大塚 ねえ、おっちゃん。もう、かなり歩いたような気がするんだけど…

滑川 もうすぐですよ。

仲根 お前、三時間前から「もうすぐ」ばかりぢやん…

花吹雪 なあ、少し休まないかい？

滑川 また、休むんですか？ もうすぐだつて言うのに…

賀茂 そうにや、休もう、休もう…

西岡 お前な、アレックスにおんぶされてるつて言うのに、いい気なもんだな…

賀茂 花梨ちゃん、妬いてるのききにや？

西岡 違う！ お前のその態度だろ！

賀茂 やっぱり。うらやましいからだにや。花梨ちゃんも、仲根さんにおんぶして

もらえばいいにや。

西岡 仲根さん、おんぶ！

仲根 遠慮！

西岡 がつくし…つて、そんな展開じゃないだろ！

大塚 まあまあ、花梨ちゃん。そんないきり立っても、疲れちゃうだけだろう。おっ

ちゃん！ とにかく一休みしようよ。

滑川 休み、休みつて、お前らは休むことしか考えないのか？ それでも、誇り高き

海兵隊員といえるのか！

大塚 よし、みんな休もう。海兵隊員じゃないし…

花吹雪 愛ちゃんも降りなよ。アレックス、疲れちゃってるだろ？

花吹雪 俺は大丈夫だ。サイボーグ戦士は疲れることはない…

仲根 つて言いながら、二の腕プルプル震えてるだろ。

花吹雪 大変だな。サイバー・パンク・SF劇団も…

花吹雪 ああ。(素直に頷く)

花吹雪 とにかく、降りな、愛ちゃん。

賀茂 うん。(と言つて飛び降りる)ありがとにや、アレックシユ。

花吹雪 ああ。(と、平静さを装いながらも、ホツとしたつて感じか…)

滑川

しょうがありませんね。あと少しなんですけど、休憩しましょう。(腕時計を見

大塚

ほんと、へとへとだよ。アレックス、あんたも疲れたる？ はい、水。

飲料水のボトル(天然バナジウムウォーター)「悟空の水」をアレックスに放る。
パシッと掴み、「サンキュー」とか言つて、飲み始めるアレックス。その他全員が
脱力気味に休憩する中、滑川は立ちつくしたまま、腕時計を見続けている。
そして…

滑川

はい、休憩終了。(満面の笑みで)出発！

水を飲んでいたアレックスは、お約束なので、口に含んでいた一口分の水を、
「霧吹き状態」で吹き上げるだろう。

その他全員、とりあえず、突っ込んでおくしかないだろう…

「おい…」

当然のごとく、照明が暗くなり、他方に木暮崎と久米田が走り込んでく
る。

キキーツ！ (ブレーキ踏んで、車は急停止！)

なにすんの、急に、久米田さん！ 透明の板のところにむぎゅーつてなつちや
つたつ！

剣さん。ありましたよ、連中の車。精進湖登山口の駐車場に…

あれか？

あれです。

車を飛び降り、駆け出す二人。

木暮崎

(車の中を確かめて)もぬけの殻だ… 奴等、ここから樹海の中に？

久米田 さあ、どうでしょう……(ひとりごちて)こんな近場が終点なら、タクシー拾

つてくれれば……さてよ、タクシーの連ちゃんに通報される可能性を考えたと
てわけか……

木暮崎 どうした、久米田さん？

久米田 いや、何か裏がありそうな気がして……

裏も、表もねえだろ？ 奴等、その登山道から樹海に入ったってことだよ
な？ でも、その行く先は？ 樹海の中に一体何があるって言うの？

照明が振り替わる。

童謡を歌いながら、やけくそになって樹海を行進している役者連中。
先頭にはとても元気のよい滑川。

滑川 ……まきばをこえてー。うたおー、ほがらにいー、ともにてをとり、らんら、

ら、らんらんらんらん。らんら、らんら、あひるさんー？

がー、がー

大塚 らら、らんら、らんら、へびさんもー？

滑川 へっ、へび？

滑川 そう。はい！ らら、らんら、らんら、へびさんもー？

仲根 (無声音で)によるによる……って、これなんのゲーム？

気分を高揚させるために、歌を歌いながら進もうって提案したのは、仲根さ
んでしょ？

仲根 そりゃ、言ったけど……

滑川 それにゲーム性を加えて、よりエキサイティングにしてみました。はい！ ら
ら、らんら、らんら、わにさんもー？ (アレックスに振る)

仲根 (困っている……)
さすがに、「爬虫類系」はきついだろ？

と、その時、花吹雪が唐突に声を上げる。

花吹雪 なんだ、あれ？

大塚 どうした、小春さん？

花吹雪 い、今、鬱蒼とした樹木の間から、何かが……

西岡 小春さん、とうとう見てしまいましたね…… 日本刀を持った白装束のイン

花吹雪 デイアンの姿を……

花吹雪 違うよ、花梨ちゃん。一体、あれは……

前方に駆け出していく、花吹雪。はたと立ち止まり、目を見開き前方を凝
視する……

花吹雪 ……やっぱりだ。目の錯覚なんかじゃない。

仲根 どうしたって言うんだ、小春？

役者連中、「なに、なに？」とか「どうしたっていうにや？」とか騒ぎつつも、
不思議そうに花吹雪のもとに駆け寄る。

そして、前方のそれに気付き、皆息を飲む……

花吹雪 あれは、一体……

と、照明が振り替わり、木暮崎と久米田へ。

木暮崎 奴等が向かった先には、この樹海の中には、何かあるって言うんだ？

久米田 ……ちよつと待ってください。何か、ばらばらだったものが、今、かちつとはま
り始めたような気がします。能義達哉、どこにも行けない道、そして樹

海……十数年前、そうバブル崩壊の直前に、こんな事がありました。青木ヶ
原樹海の上を夜、ヘリコプターが何機も飛び交ったことがあるのです。その上、
樹海の一部が真夜中にぼうっと白く浮き上がって見えることがあったので

す。地元のガキどもは、UFOがらみじゃないかなど、おもしろおかしく言うてましたが……私の友達に土建屋の息子がいたんですが、そいつがね、こんな事を教えてくれました。「実はあれは映画のオープンセットを造ってるんだ」ってね。「鴨川春樹っていう出版社のおちやんがいるだろ？ 映画とかもプロデュースしてる。そいつが今度の新作のために樹海の中にセット造ってるんだよ。ところで、その作品に抜擢された監督知ってる？ あの、能義達哉だよ……」

照明が振り替わる。

役者全員が、呟くように……

「樹海の中に、オープンセット？」

滑川 皆さん、とうとう見付けてしまいましたね。そうです、あれがオーディション会場。「ビリディアンの迷宮」のオープンセットです……

賀茂 (ぼそりとほんまに、あつたん……アレックスの視線に気付き)にやあ。
仲根 すぎえ、すぎえよ！

オープンセットに向かって駆け出していく、仲根。

大塚 仲根さん！

と、その後を追う、大塚。そして、他の役者連中……
一人残った、滑川。

滑川 皆さん、足場が悪いですから、気を付けてくださいね。あらあら、もうあんなところまで……ほんとうに、困った人達だな……

と、照明が振り替わり、木暮崎と久米田へ。

木暮崎

ちよおつと、待て！ 国有林の上に国の天然記念物だぞ。そんな中に、映画のセットなんか……

久米田

バブルですよ、ばぶぶ…… 国も企業も、ちよーしこいて、やつちまつたんですよ…… まあ、バブル崩壊で映画そのものはつぶれちゃったみたいですけど……

木暮崎

久米田さんも見たのか？ 樹海の一部が真夜中にぼうつと白く浮かび上がるのを……

久米田

見ましたとも、ちようどその室伏山の手前のところがぼおつとね……

木暮崎

あそこだな。よし…… 久米田さん。どうもありがとう。料金いくらだ？

久米田

その代わりといつてはなんです、わたしもそこに行ってみたい。一緒に行きましょう。

木暮崎

はああ？
それに剣さん一人で樹海に入るのは自殺するに等しい。

久米田

さすが地元の人。樹海は庭みたいなものだつてわけか？

木暮崎

ええ。一回も踏み込んだことはありませんけどね……
頼れるお人だぜ。全く……

久米田

精進湖登山口に向かい駆け出していく、木暮崎。久米田はそれに気付かず、語り続けている……

……ばらばらだったものが、今まさに、かちつとはまり始めたような気がするんです。富士山大噴火、誰もいない夏、能義達哉、そして、どこにも行けない道……あの時と同じ、私が高校を卒業して、頼み込んでこのタクシー会社に就職したあの夏。一人の女。そう、私がここで下ろした。そして、この手紙(ジャケットの胸の部分を強く押さえる)……十数年の時を経て、すべての符

号が……（と、木暮崎がすでに傍らにいないのに、やっと気付く）あれ？ 剣
さん？（遠くを見やって） ありや、あんなところに！ もう、人がちよつとい
い話をしようと思った矢先にこれだもんな……ちよつと、剣さん、待つて！
一人じゃ危ないでしょ……

と、久米田、木暮崎を追いかけて退場する。
一人取り残される滑川。

断片 (9)

―― クランク・インの準備 ― 青天井 ― まるで人の心にも似て ―

舞台中央に立つ、滑川。

滑川

（ふと虚空を見つめて、誰かに話しかけるかのように、にこやかに……クラン
ク・インの準備は整いつつあります。やっど……やっど、始まるんですね「ビリ
ダイアンの迷宮」……

舞台後方に人影が浮かぶ…… 能義達哉である。

決まったぜ。

本当ですか？

本決まりだ。

まだ、作品公開前なのに？

「どこにも行けない道」のラッシュ見ただけで、俺の才能に惚れこんじまったん
だど。

さすが鴨川。鼻が利きすぎますね……

鴨川も社運を懸けるつて言つてたぜ。制作費は青天井だど。使えるだけ、使
い倒してくれとのことだ……

青天井か……

昨今、プロデューサーはいくら儲けたかじゃなく、いくら使い倒したかで評価
が決まるんだと…… そんな時代なんだよ、今は。バブル万歳つてわけだ！

それにしても、A.G.G.とはえらい違いですね……

まあな、その代わり、作品自体の自由度は減るだろうな…… A.G.G.は好き

勝手にやらせてくれたけど、さすがに鴨川はそんなことはねえだろう。でも、とにかく使いまくって、やりたいことやろうぜ。

能義

今度の作品では「人間の暴力性」をよりエキサイティングに描こうと思う。前回の「内なる暴力」をテーマとした「青春ドラマ」とするのなら、今度の新作は、同一テーマでの「戦闘映画」と呼ぼう。「ビリディアンの迷宮」……その舞台は、「青木ヶ原樹海」だ。

今ままで、したくても、出来なかつたこと。そうだよ。よろしく頼むぜ、滑川史郎君。

滑川

青木ヶ原樹海だよ。……昼なお暗き翠の迷宮。溶岩と木々の根が織り成す複雑怪奇にのたうつ地面。迷い込んだら最後、二度とは戻れない。それはまるで人の心にも似て……幾層にも重なり合つて、溶け合つては、引き裂かれるもする心のヒダ。瘴気に充ちた混沌の淵……

よしてくださいよ、そんな呼び方。いつもの通り、「ばしろろ」でお願いしますよ。

能義

能義の明かりがフェードアウトし、舞台上から消え去る。取り残された滑川。

あのな、お前は今日から、鴨川映画で助監督やるんだぜ。それもファーストの助監督だぜ！それが「ばしろろ」じゃ、様にならねえだろ。

滑川

そして、舞台は暗転する。

いいすつよ、「ばしろろ」で！それ以外で呼ばれると、じんましん出ちゃいますよ……

分かつたよ、ばしろろ。これでいいんだろ？

滑川

「ビリディアンの迷宮」。それはまるで人の心……瘴気に充ちた混沌の淵……

はい。能義監督！

滑川

……

で、監督。今回のプランは？

今日のミーティングで題名を決めてきたよ。

タイトルは？

タイトルは「ビリディアンの迷宮」。

！

主演はあの結城頼子。今はまだ、表には出ていないが、「どこへも行けない道」が公開されたら、あつと言う間に人気者じゃねえか？

そうすね。

俺は「どこへも行けない道」で、奴の魅力を一〇〇%表現することに成功した。今度の作品では、二〇〇%まで引き出してやる。

頼子さんには、話したんですか？

これからだよ。でも、OKするに決まってるだろ？

……(ちよつとまじつく)

……

だろ？

え、ええ。当たり前ですよ！

― 幻の映画 ― 夜に爪を研ぐ ― 大阪はえずかあ街たい ―

舞台中央に滑川。

滑川

この度は、ご多忙の中、本オーディションにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。ごく細やかな食事ではございましたが、楽しんでいただけましたでしょうか？ 日も暮れて参りましたので、本日はこれまでにいたしました。それぞれのお部屋にてご休息の方お取りいただけます。オーディションは明朝、ここ野外特設ステージにて始めさせていただきます。それまでに、そのお手元に渡っております、オーディション用のシナリオを熟読しておいていただきますよう、よろしく願います。なお、シナリオは各個人で異なっておりますので、お取り違いのないようにお気を付けください。では、明日の朝、ここでお会いしましょう。おやすみなさい。

滑川退場する。

舞台下手に、仲根、大塚、アレックス。アレックスは一人、シナリオを熟読中である。

仲根

じゃあ、お前、「どこにも行けない道」を見てないってわけ？

大塚

残念ながら……

仲根

アレックスは？

大塚

(シナリオを熟読しつつも)俺も見えていない……

仲根

仕方ねーな、二人とも……でも、しようがないか。なにせ「幻の名作」ってやつだからな。

大塚

幻の？

仲根

ああ、今じゃ見ようとしても見ることが出来ない……

大塚

どういうことだ？

仲根

映画の内容とは無関係なところで「ミン」がついちゃった作品なんだよ。それというの、主演女優の結城頼子が公開直前に失踪しちゃって……その失踪状況に不自然な点があるって言うんで、警察まで動いちゃったのよ。

大塚

単なる失踪なのに、警察動いちゃったの？

仲根

漏れ聞いたところ、結城頼子の親父さんって言うのが、地方の名士なんだって。代議士との太いパイプでも持ってたんだろ、きつと……んでもって、公開時に監督の能義達哉が重要参考人として拘留されるというおまけまで付いた。こんな事情からか劇場公開も短縮されちゃって……そうそう、俺さ、この前「A.G.C.二十五史DVD復刻シリーズ」買っちゃったんだよ。

大塚

あれ、結構するんだろ？

仲根

したよ。豪華カートンボックス入り。全七十六タイトル。しめて十九万八千円也。

大塚

どこぞに、そんな大金が？

仲根

返す当てのない借金しちやったってわけ……

大塚

どこぞの三流劇団の劇団員みたいだな。

仲根

どこぞの三流劇団の劇団員みたいなもんだからな。(力なく笑ったりして)まあ、それはそうと、この復刻シリーズにも、やっぱり、「どこにも行けない道」は入ってなかったよ。

大塚

当然、ビデオやLDでの製品化もされてないってことだよな……

仲根

そう。すなわち、「見た者の心の中だけに存在する映画」ってわけなんだ。

大塚

見た者の心の中だけに存在する映画……

仲根

と、舞台上手に、花吹雪、西岡、そして賀茂。

大塚

照明がそちらへと切り替わる。

西岡

すごいですねー。オープンセットなんて……初めてきちちゃったって感じです

よ。

花吹雪 そりや、あたしもだけど……

西岡 明日は能義監督とか、あと、カメラとか来ちゃうわけでしょ？

花吹雪 まあ、そうなるだろうね。

西岡 まさか、あの「おっちゃん」が能義達哉なんてことはないですよ？

花吹雪 いや、映画は見たんだけど。ほんとのところ、あたしや監督の顔知らないんだよ……

西岡 そうなんですかあ？ でも、明日になれば、分かりますよね…… 楽しみだな、カメラテストとかあるんだろうな。ちよつとドキドキって感じか？

西岡 先ほどから、爪の手入れをしていた賀茂が大げさに咳払いをする。

花吹雪 おつ、どうした、愛ちん？ 猫娘は夜に爪研ぎってわけかい？

西岡 夜に爪切ると、「世を詰める」。親の死に目に会えないって言いますよ……

賀茂 ……うるさいわ、そのいちびり。

花吹雪 何故か、ばりばりのつていうか、この場合「こつてこての」と形容した方がよい

西岡 のだろうが、関西弁じゃんか！

賀茂 ちよつとびびっちゃう、花吹雪&西岡。

西岡 いちびり？

賀茂 自分、調子こきすぎ、ちゃうん？

花吹雪 ……お前、関西系か？

賀茂 そや、生まれも育ちも、バリ大阪や。(じつと見つめる、花吹雪に)なんや、顔

西岡 に何やついとるか？

花吹雪 いや、「にゃー、にゃー」言ってる、おまえからは想像つかねえな……

西岡 きつと二重人格つてやつですよ。それも、かなり質の悪い……

賀茂 くらっ！ 誰が二重人格や。「にゃー、にゃー」ゆーとんのは、うわべだけの

西岡

賀茂

花吹雪

西岡

賀茂

西岡

んやろ。これがほんまのわたしや。……にしても、自分ら、ほんまに明日、スタッフ

だつて、オーデイション……

どうやって来るんや？ 道もない、樹海の中や……

へりとかで……

へりはチャリンコとちゃうで。飛ばすんに、なんぼかかる思てんねん？

でも、映画ですよ。制作費はしこたま……

いや、たぶんないな……

あんた、一体何が言いたいんだい？

小春ねーさん。「あんた」やのーて、「愛ちん」呼んでんか？

「こつてこて」でも、愛ちんか？

悪いんか、ボケ！

だから、愛ちん、一体何を……

なんか裏があると思うとんや…… こりや、ふつーの映画のオーデイション

やないで。

というと？

ふつう、映画がクランクインするつてときには、耳塞いどつても、噂のひとつや

ふたつ、飛び込んでくるもんやろ？ 事務所にいれば……

事務所つて、「組」事務所ですか？

あほ。「タレント」事務所や。

だつて、関西弁だと「事務所」が「事務所」じゃなくて、「事務所」の意味に聞

こえちゃうよね……

眠たいんかい、われ？

つてーことは、この映画に関して、なんの噂も聞こえてきてないつてこと？

そうや。いつこも聞こえてきーひんかった。つまり、どこの製作会社も、ど

こぞの資本も動いとらへんと言ふことや。それとはなしに、このオーデイシ

ョンのこと、ウチの社長に聞いてみたんやが……

「社長」というと、「組長」のことですか？

西岡

賀茂

花吹雪

西岡

西岡の額に、賀茂の履いていたはずの靴の踵がめり込んでいる。
賀茂が電光石火の早業で、履いていた靴を脱ぎ、手に持ち換えて、どついた
のだった。

西岡 ……流れ上、こうボケておいた方が、喜んで頂けると思っています……

靴の踵は、まだ、めり込んだままだ。

賀茂 誰にや？

西岡 あちらの方々に……(客席を指さす)

賀茂 壁やぞ、そっち。

西岡 はい。しかし、こんなへビーな「つこみ」が来るとは、予想しておりませんし
た……

賀茂 (何事もなかったように、靴を履いて)……でな、ウチの社長、こう言ってます
つた。「能義達哉、最近聞かんな。死んだんとちゃうか？」ってなあ。

花吹雪 そこまで、分かかって、なんで「ここに来たんだ？」

賀茂 好奇心やろか……ちゃうな、やっぱり「どこにも行けない道」の魅力や。

花吹雪 魅力？

賀茂 よくあるやろ？ 自分の人生、まるごと変えちゃう出来事ゆーもんが。あ
の映画が私(あて)にとつての、それやったんや……

照明が下手へと切り替わる。

仲根 ……ほんと、凄い映画だったよ。俺の人生変えちゃうような。始まりは、凄い

静かなんだ……「音がない」ってことじゃない。でも、「静か」としか形容でき
ないって言うか。とにかく印象深いオープニング・シーンなんだ……夜明け
前の小学校のグラウンド、すべてが朝霧で紫色に煙って……三階建ての木

造校舎、その傍らにウサギ小屋。ロングショットのカメラがゆつくりと、本当
にゆつくりと、近づいていく……周囲は未だ薄暗く、すべてのものの輪郭が
曖昧なまま……遠くで、とても遠くの方で、犬が鳴いている。いや、鳴き声
は遠くからじゃなく、カメラの視線の先のうさぎ小屋の中から聞こえて来て
いるんだ……犬が楽しげに鳴いている。飼い主とじゃれ合うように、飼い主
に媚びるように、何度も何度も鳴き声を上げ……

陶酔して、喋くっている仲根。唐突にシナリオを読みふけていたアレックスが、
顔を上げる。

アレックス おかしい。

大塚 どうしたの、アレックス？

仲根 何かが、おかしい。

大塚 おかしいって何が？

アレックス、力強くシナリオを閉じ、燃えるような目で表紙を凝視する。
身体中の筋肉という筋肉に力が入りまくっている……

仲根 このシナリオ……

仲根 このシナリオがどうかしたのか？

アレックス さつきから、変だとは思っていたんだ！

アレックスの異変を感じ、緊張する二人。

大塚 アレックス？

仲根 やっぱりだ！ やっぱりそうだったんだ！

仲根 やっぱりって？？

アレックスの緊張が頂点に達する。まわりの空気がすべて固体になったような緊張感だ！

フレックス これ、西岡花梨のだ。

表紙を二人に示す。そこには「西岡花梨」の文字が……緊張の糸がぷつりと切れる。ふにやふになつちやう二人。

大・中
フレックス (ゆるゆるな感じで論ず)取り替えてこい……
そうする……

アレックス、立ち上がり退場する。
照明が上手へと切り替わる。

賀茂 それが、あてがここへ来た理由やな……
花吹雪 愛ちゃん。お前の関西弁、ほんと、堂に入ったって感じだな。まあ、今やっと慣れたから、言えるんだが……

賀茂 褒めとんのかい？ おおきに。
花吹雪 でも、お前、なんで普段は「にやー、にやー」なんだ？
賀茂 そりやー、なんや……

花吹雪 どうした？ そんな、奥歯にも挟まったような……
賀茂 ……あんなあ、小春ねーさん。あて、関西弁喋れんねん、男の子の前では……

花吹雪 喋れへんようになってしもたんや、男の人の前では……
賀茂 なにがあつた？

賀茂 ながーい話……ロング・ストーリーや。
西岡 じゃあ聞かない。
賀茂 われ、聞いとけや。掻い摘んで、短うして語るさかい…… あれは、あてがま

だ、高校通つとつた頃やった。まだ、スカートが短うなる前の話やな……
西岡 スカートの短うなる前の……

花・西 いくつなんだ、お前？ 本当は！
賀茂 内緒や…… とにかくな、あれは、忘れもせん…… アベチカでのことやっ
た……

西岡 あべちかか？
賀茂 「アベチカ」ゆーたら、「あべの地下センター」、天王寺駅の地下街のことや
ろ！ ぼけえ！

西岡 「ぼけえ！」言われてもな……
賀茂 (食い入るようにつめて見ている花吹雪に気付き)ねーさん、好きやろ？ こな
いな話……

花吹雪 よく分かったね。たまらないねえ、実際、この手の話は……
賀茂 「芸の肥やし」になるゆうての……

その時、ドアのノックの音。
西岡 誰だろ？
賀茂 キヤサリンやろ。(ドアの向こうに)開いとるで！

もう一度、ドアのノックの音。
賀茂 鍵開いとるさかい、はよ入ってきたらえーねん。ほんま、いいーつとなるわ……

ドアが開くと、アレックスである。
フレックス ……すまない。

賀茂 あつ、アレックシユ？ こんな夜更けに、なんのようによ？
フレックス 花梨、そのシナリオ、俺のじゃないか？

フレックス

西岡 (自分のシナリオをまじまじと見て) あっ、ほんとだ！ これアレックスのだ。
読んでいておかしいと思った……

二人の「突っ込み」の「博多出身だろ？」の「ろ」の辺りで、舞台上のすべての照明が一瞬にして消えるのだろうか……

アレックス、西岡とシナリオを交換する。

アレックス 邪魔したな……ところで、この部屋の中に「勢いのある関西人」がいたようだが……

賀茂 いないにや。それ花梨ちゃんの声にや。

西岡 おまえ……

賀茂 花梨ちゃん、「関西人」のまねが、とつてもうまいにや！ ねっ？

西岡 ……そ、そ、そや。「宵のウチにウチのウチにきいひん？」なんてね、なんてね……

アレックス そうか、おやすみ……

アレックス、ドアを閉め、去る。

賀茂 ようやったやんか、花梨ちゃん……

西岡 おまえなあ……

花吹雪 それにしても見事な変わり身だな。

賀茂 染みついてんのや。細胞の一個、一個まで……あの街が、あてをこないと変えてしまつたちゅー事や。あの街、大阪があてを、こないと歪(いが)ませてしまつたんや……

西岡 何があつたか知らないけれど……

花吹雪 恐い街なんだな、大阪つて……

賀茂 そうや……(遠くを見つめるような目で、ぼそりと)まこと、大阪はええずかあ街たい……

花・西 つて、お前。ほんとは、博多出身だろ？

断片 (1)

― 日没ですか? ― さばの味噌煮 ― スズラン・テープ ―

薄暗い舞台に現れる木暮崎と久米田。

木暮崎 ……久米田さん。なんか薄暗くなつてきちゃったよ。

久米田 そうだね。

木暮崎 突然日が陰つたのかな?

久米田 いやー。もうすぐ、日没なんじゃないですかね…

木暮崎 ないですかねつて、あんた! 他人事のように… (腕時計を一瞬見て) げげ、もうこんな時間だし…

久米田 でしょう?

木暮崎 でしょう? ぢやないでしょう? なあ、久米田さん。昼なお暗い樹海のこと

だから、夜はびっくりするぐらい暗いかもね?

久米田 そうかもね…つていうか、自分の鼻の頭も見えないくらい、暗いでしょうね…

木暮崎 だよー。さあ、久米田さん。帰りましょう。撤退です。

久米田 撤退とか言つてもね…

木暮崎 こんなところで、意地を張つてどうするつて言うんです。

久米田 別に意地張つてるとか、そう言うんじゃないや… (ぼそりと) こりや、完璧に迷つちやつたねえ…

木暮崎 ふえ? 今、ぼそりと、なんと呟かれましたか?

久米田 (頭掻きながら) どうやら、完璧に迷いましたね。

陰にこもつたような「寺の鐘の音」が「ーんんんんつてな感じで響き渡る。

久米田 今の何? お寺がこの辺りに…

木暮崎 違います。今のは俺の鼓動。とほほ、突然の大ショックに心臓急停止するところだったろ! どうしてくれるの、久米田さんん!

久米田 だから、言つたでしょう。私も始めてだつて… まあ、予想通りの展開ですよ…

木暮崎 予想してたんなら、何となくその情報をリークしておいてくれよ… こつちにも気の持ち様つてものがあるだろつ! あーあ、かなり暗くなつてきちゃったよ… どうする? 方向決めて、一直線に走り続けてみる?

久米田 そんなことしたら、マジお陀仏ですよ。まあとにかく、その窪地で…

舞台中央に「どっこいしょ」と腰を下ろす、久米田。

木暮崎 お前、こんな時に余裕あんな… どうする気?

久米田 野宿。

ふあい??

久米田 野宿するしかないでしょう。ねつ?

木暮崎 気楽に言うなよ! お前、タクシーあのままだし… 警察、動くぞ! 動くなら動けばいい。私たちにはどうしようもないじゃないですか…

木暮崎 そりやそうだけど…

久米田 さあ、座つて。こんな事もあろうかと、「久米田袋」にいろんなものを入れてあるんですよ…

木暮崎 「久米田袋」つて?

久米田 (腰に下げていた袋から何かを取り出す) はい。さばの味噌煮。

木暮崎 缶詰めか。用意いいなあ…

久米田 それから… (もう一個何かを取り出す) さばの味噌煮! そして… (もうひとつ取り出す) さばの味噌煮! 最後に… (もうひとつ取り出す) さばの味噌煮!

味噌!

木暮崎 全部、さばの味噌煮かよ!

久米田 すき・だ・か・ら。

木暮崎 ……

久米田 剣さんだつて、腹減つてるでしょ… さあ、座つて、座つて。

木暮崎 (しようがなく座るが、ふと気付き)これ、三流劇団の展開だと、さて食べようと言つた段になつて、久米田さんが「ありや、缶切り忘れた…」。暗転。つて言う感じでこのシーン終わるよね？ うちの作家だったら、絶対そうくるね。

久米田 剣さん、いつの時代の人？ 最近の缶詰めはみんな、「ばつ缶(だせえ)」「ちゅう

木暮崎 の？ イージーオープンになつちやつてるから…

久米田 そうか… おつかしーな… (小首傾げているが、ふと気付いて)分かつた！

久米田 久米田さん、それ開けるとき、気を付けて。「あれ、剣さん、わかかの部分だけ取れちやつた…」でもつて、俺が「おい！」つて突っ込んで、暗転。闇の中、

久米田 二人の腹の虫の大合唱が始まる… なんて、ト書きだな！

久米田 「だな！」つて、誰に言つてるの？ ほうら、「ばつ缶」つて開いちやつたから…

久米田 (香りをかいで)んーっ、かぐわしい味噌の香りが、鼻腔をくすぐる…

木暮崎 (小首傾げておかしいな…

久米田 (指でつまんで、うまそげに喰つてるし…)んまい！ いつ喰つても、うまい

久米田 ね！ 剣さん、はい。(と、缶を手渡す)

木暮崎 悪いね、久米田さん。(指でつまんで、喰う…)んんん、んまい！ 腹減つてた

久米田 からかも知れんが、猛烈にうまい！ 何故だろう？ 涙がこぼれ落ちてくるよ…

久米田 剣さん。素直に喜んでくれてありがとう。そんなあなたに、ほれ！

久米田 と、酒瓶の様なものを手渡す…

木暮崎 ……

久米田 ……

(なにかに、気付いちやつて)あつ！

久米田 大丈夫だつて。それスクリーン・キャップだから… 「あつ、コルク抜き忘れちやつた！ ちゃん、ちゃん。どーもありがとう(ぎ)きました！ 暗転。」とかつていう展開ないから…

木暮崎 (キャップを開けて)そうだね。開くね… (と、飲むうとするが…)でも、アルコールはアルコールでも、キャベツだろ、これ？

久米田 だいじょぶ。うまいから… きゅーつとやつちやつてください。

木暮崎 (怪訝そうに口に運び、一口飲む…)そして、怪訝そうな表情がぱつと輝く)…んんん、んまい！ いけるじゃねーか、久米田さん！

久米田 これ、「道の駅・なるさわ」で買えるから…

木暮崎 (キャベツワイン「本物」をぐびぐび飲んで…)いけるよ、これ。みんなに宣伝しなきゃ、つて、これ、JA鳴沢との「提携公演」？

久米田 何を言っているのか、分かりません…

木暮崎 いやー、いいもんだね。樹海の中での宴会つて言うのも… 野趣溢れるつて言うか、なんつーか…

久米田 でしょ？

木暮崎 よかつたよ。久米田さんと一緒に、ほんと… 一人で入り込んでたらたぶん

久米田 死んでたね… (ふと、傍らの白いビニール紐に気付き…)ところで、久米田

久米田 さん。この、白いビニール紐つてなに？ いろんなところに切れ端が落ちてるけど…

久米田 それ？ スズランテープのこと？

木暮崎 スズランテープ？

久米田 これね… 山梨県警の秋の一斉捜索のとき、仏さん見付けたら、目印代わりに使うものなのよ。

木暮崎 ほ、ほとけさん？

久米田 うん。自殺死体。仏さんのあつたところの木に、これを縛りつけて、登山道

久米田 で引つ張つておくのよ。そうしたら、後から鑑識とか、担架とかそれ伝つて、その場に行けるでしょ…

木暮崎 ……

木暮崎 今、思い出したんだけど……ここって青木ヶ原樹海だっけ？

久米田 なに分かり切ったこと聞いているの？

木暮崎 自殺の名所だったっけ？

久米田 一斉捜索では毎年数十体の遺体が発見されるらしいね。実際の自殺者の数はこの三、四倍だって言う者もいるし……それに、最近、平成不況のあおりで、その数はうなぎ登り……

木暮崎 ちよい待ち！ 今、私が手に握っている、このスズランテープの切れ端……これ端つこが、今背にしている木の太い枝に、きつく縛りつけられているんだけど……久米田さんのには、これは何を表しているんだと思う？

久米田 そこで、誰か、亡くなっちゃったんだろね……（手を合わせ、念仏を唱える）（自分の座っている箇所を指さし）ここで、お亡くなりになられたのかな？

木暮崎 息引き取るには、格好の……

久米田 陰にこもったような「寺の鐘の音」が……んんんんってな感じで響き渡る。

久米田 今、また、鐘の音が？ この辺りに、お寺が……

木暮崎 違いまーす。俺の鼓動でーす。心臓急停止、ぎりぎりのラインでした……いま、私は、腰に力が全く入りません……

久米田 そうそう、剣さん。せつかくこんな話になったんだから、すつこい話、聞かせちゃいますよ……

木暮崎 （プルプル、首を横に振つて）いい、いい、いい。

久米田 そんなこと言わずに……（ちよつと、稲川風のキャラが入り始めてる）わたし、タクシーで、こんなところ十数年も流してるでしょ。ちよくちよくあるんですよ。凄いのが……ありやー、心臓止まるかと思いましたがね。そうですねー、あれは今から、六年ぐらい前になりますか……

木暮崎 やややや、久米田さん。いって、言ってるんだけどな……そそそ、その手の話って、きききき、聞き飽きちゃって、ててて……

久米田 その夜も、こんな風のない晩でした……

木暮崎 （耳を両手で押さえて、声を出して、久米田の話をブロックしようとする）あー、あー、何にも聞こえてないし、あーあーあーあー……

久米田 国道からね、コウモリ穴の方に一本入った、ほそーい道があるんですけど……（全くもって、話をやめる気はないらしい）

木暮崎 （膝小僧を抱えつつ、泣きそうな顔で呟く）お家へ帰りたい……

久米田 ゆっくりと暗転。

久米田

木暮崎

久米田

西岡

昨日、泊まった部屋だつて、かなり古かったですよね……遠目にはそうでもないんだけど、近くに寄ってみると……サイゼリアばりの安普請を十年雨ざらしにしたら、こうなっちゃいましたって感じですね……ふと、賀茂がアレックスにちよつかいかけているのが目に入ってしまうくら、そこ！遊んどらんと、さくさく仕事せんかい！

賀茂、西岡をあおる仕草(中指たてたりしちやったりするのもありだが、基本的に自由)。

西岡もマイムで応戦。静かなる熱い戦い。それは禁断のマイム合戦！

つて、いったい何なの？でも基本的に自由……

西岡

(結局、マイム合戦？に惨敗し、声を荒げる) くおんのやろお！今日という今日は、ゆるさねえぞ！

花吹雪

(なだめて) まあまあ……

仲根

今、ふと気づいちゃったんだけど……

花吹雪

なに？

仲根

キヤサリンは？

花吹雪

ああ……

仲根

ああ、つてなに？

西岡

寝起き悪いんですよ、あの人……

仲根

で、起こさなかったの？

花吹雪

私が起こさなかったら……

西岡

(ちよつと回想シーン風。キヤラも入ってます……)……やめておいた方がいいです。ひどい低血圧なんですよ、あのお方……昔の一緒の劇団で、わたし、起き抜けに三度殺されそうになったことがあります。マジで……

花吹雪

つて、言うからさ、花梨ちゃんが……

仲根

マジなの？

西岡

ゲロマジです。

噂をすれば影。舞台袖より大塚現る。

歯を磨いているぞ。

西岡

げっ！

大塚

花梨ちゃん？なんで起こしてくれなかったの、約束したのに……みんなごめんね、寝坊しちやつて……いつもなら、寝起きはいい方なのに……

仲根

いい方なの？

西岡

(手を激しく左右に振る)

大塚

がー、べつ。(てな感じで、口を濯ぎ、歯ブラシを仕舞う) よし！(と気合い一発) 朝の準備体操だ！

花吹雪

なあ、花梨ちゃん。あいつ、ほんとに低血圧なのか？

と、舞台袖より、滑川が登場する。

滑川

皆さん。おはようございます。それに、お掃除ご苦労様です。さて、すでにシナリオの方は頭に入っていることと思いますが、このオーディションは、このシナリオに書かれているいくつかのシーンを即興的に演じてもらうことにより進められます。私が止めるまでいかなる理由があるろうと演技を続けること……これが条件です。質問は？

西岡

(手を上げる) アドリブは許されるんですか？

滑川

当然です。流れさえふまえていけば……

ムムム

評価は？

滑川

すべて私の一存です。

仲根

つていうことは、あなたが能義監督？

滑川

そうですねと言いたいところですが、違います。申し遅れました。ファースト助監督の滑川といます。

花吹雪

滑川……じゃあ、能義監督は？

滑川 最後まで行き着けば、会うことになるでしょう……
最後？

賀茂 ええ、最後……

大塚 でも、このシナリオの最後は……

仲根 そうだよ、シナリオの最後のところが……

滑川 ええ、このシナリオの最後、シーン9「逃走」は白紙です。つまり、完全アドリブ。そこまで到達できればですが……でも、皆さん到達できると信じています。では、開始しましょう……

気のゆるみこそ事故のもと、注意一秒怪我一生。台詞が飛んだらあなたの負けよ。秒殺即死のサドシデス・ゲーム。「ビリディアン」の迷宮、オーディション用シナリオ、ファーストシーン。シーンナンバー1！

それを合図に、すべての役者連中、シナリオをかつこよく舞台袖に投げ捨て、見得を切り、舞台上から疾風のように消え去る。

あれ、何故か大塚だけは、脚本持ったままもじもじしてるぞ。

大塚 こら、みんな、シナリオ投げ捨てたりなんかしちゃったつりして、なんなの？
覚えちゃったの、掴んじゃったの？ 全部の流れ……つていうか、本当？ マジで……昨日、読んでるうちについて、ウトウトと……睡魔うちゅうの？ だって、結構、量あるじゃん。この「頼子」って役どころ……

舞台ゆつくりと暗くなり……

ぼつんと寂しげに立ちつくす大塚だけが照らされている。

断片 (13)

―― ばつたもん？ ―― ドンペリ入りました！ ―― 穴のあいたハート ――

舞台上に大塚に駆け寄る滑川。光るものを手に持っている。
それを大塚に手渡す、滑川……

滑川 キヤサリン、これを……

大塚 何これ？ ペンダント？

滑川 「オープンハート」……

大塚 ばつたもん？

滑川 本物です。ティファニーの……

大塚 まだ、売ってるの、これ？

滑川 ティファニーではまだまだ主力商品です。

大塚 お前はティファニーの回し者か？

滑川 違います。一応、キヤサリンは「頼子」という役をこなしてもらおうことになり
ますから、これを付けてください。

大塚 なんで？ 目印みたいなもんか？ 分かった。付けちゃおうと……

臆面もなく首にかける大塚。

大塚 どう？ 似合う？ なんてね……

滑川 ……

大塚 どうしたんだよ。つつこんどけよ。「やつぱり、三流劇団員は……」とか、目頭
押さえたりなんかして……

滑川 やつぱり似てる……

大塚 は？

滑川

(ひとりごちて)何でだろう？ 顔はそうでもないのに…… 雰囲気かな？ いや、頼子さんは、もっと繊細で、こんな「がさつ」じゃなかったし……

滑川

ドンペリとかつて高いんじや……

大塚

なんか、カチンと来そうなこと言ってるのか、お前？

滑川

いや…… 似合いますよ、その「オープンハート」……

舞台袖から、妖艶なランジェリー・パプのおねーちゃん達賀茂・西岡(が)ドンペリを持って、元気に登場だ！

照明が変化して行く。滑川の回想シーンの始まりか……

舞台袖から、能義が現れる。

能義

……おう、ぱしろう。こつちだ！

滑川

能義監督！ なんですか、このお店？

滑川

ドンペリ入りました。愛ちんでーす、よろしく！

能義

最近流行の愉快なお店ってヤツだ…… おねいちゃんもいっぱい、楽しいぞ！

ぞ！

全員で乾杯する。

滑川

いつも居酒屋ばかりだから……

能義

居酒屋じゃ、かつつかねえだろ？ 俺とお前の慰労会なんだからよ。

滑川

ありがとうございます。ほんと「どこにも行けない道」のやつと完成といたところですね。あとはプレミアを待つばかり…… そして、公開もされてない

滑川

……ところで、ぱしろう。お前、「オープンハート」って知ってるか？

能義

うちから、鴨川に声をかけられて…… すごいですね。

能義

おーふんはーと？

能義

ああ、そうだ。飛ぶ鳥をなんとかつてヤツか？ でも、お前には迷惑かけっぱなしだよな、いつも、いつも……

賀・西

ほら、ステファニーとか、ティンパニーとか言う……

滑川

迷惑なんて、ちっとも思っていないよ。

能義

おう、それぞれ！ 頼子が欲しいって言うんだよ。

能義

本当にありがたいと思ってるよ。今夜はとりあえず、飲め。

西岡

でも、それって、ちよー人気で、どこにも在庫がないって……

滑川

じゃあ、水割りを……

能義

そんな安いのかな？

能義

ぱしろう。おまえの労をねぎらおうと、せつかく、こんな「やや高級な店」で、

賀茂

ちよつと探して、買ってきてくれねえかな…… ほら、俺、鴨川とかの付き合い

滑川

「さし」で杯を交わしてるわけなんだから、「やや高級な」ものをんだらどう

能義

で、最近めっちゃめっちゃ忙しいから…… (手を合わせて)頼むよ、ぱしろう。

滑川

だ？

滑川

ええ、分かりました。

滑川

やや高級なもの？

滑川

いいな、じゃあ私も欲しいな。ちーだい、ちーだい！

能義

(袖に声をかける)ねえちゃん！ ドンペリとか、ルイ十三世とか、バブリーな

滑川

もの、どんと持って来てくれ。

滑川

もの、どんと持って来てくれ。

賀茂

もの、どんと持って来てくれ。

能義

もの、どんと持って来てくれ。

賀茂

もの、どんと持って来てくれ。

能義

分かった、こーたる！

西岡

じゃあ、私も買ってちーだい、ちーだい！

能義

お前の場合は、考えておく……

西岡

（「こういう」役まわり『だったんだ、わたしつて、やっぱり……』つて、納得してなるものかあ！ こうなつたら、十倍の迫力で）買って！ ちーだい！ ちーだい！（あつ、浮いてる…… 畜生、こうなつたら百倍の迫力で）買って！ ちーだい！ ちーだい！

能義

うっせー！

西岡

しゅん……

能義

分かった、分かった。みんなに買ってやるから…… すまん、ぱしろう。三つ四つ、見繕ってきてくれねえかな。

滑川

え？ ええ……

能義

頼んだぜ、ぱしろう……

滑川

能義、賀茂と西岡とともに退場する。

大塚

ぼつんと取り残された滑川の背後に、頼子(大塚)が立っている。

滑川

滑川さん……

大塚

やだなあ、「ぱしろう」つて呼んでくださいよ。いいですか、頼子さん。あなたは女優さんで、僕はただの助監督なんです。だから……

大塚

もう、クランクアップしてしまっただけです。だから、女優も助監督もないでしょう？

滑川

そうですね…… じゃあ、滑川でいいです。で、どうしたんですか？

大塚

なんでも…… (もじもじしている)

滑川

どうしたんですか？

大塚

(ネックレスを摘んで示す)これ……

滑川

オープンハートですね。

大塚

これ達哉にもらったの…… 何か欲しいものつて言うから、私何も思いつかな

滑川

くて…… でも、変でしょ

大塚

いえ、似合ってますよ……

滑川

ほんと？ …… 忙しいはずなのに、無理して探してきたんですつて、達哉つた…… ごめんなさい。自慢する人がいないから、滑川さんに自慢しちゃつた……

滑川

人の自慢話聞くの好きですから……

大塚

(笑う)面白いのね、滑川さんつて……

滑川

そうですね？ …… ところで、頼子さん、今度の「ビリディアン」の話ですけど、クランク・インの方がかなり早目になりそうなんです。

大塚

……

滑川

どうしたんですか？

大塚

滑川さん。私、もう、役者なんか……

滑川

何言ってるんですか？

大塚

だつて、私、まるっきりの素人でしょ。演技なんか、からっきしで…… 試写会場では、恥ずかしくて、顔を上げることも出来ませんでした。だから……

滑川

待つてください。頼子さんは、すごい女優さんですよ。魅力的だし、ピュアだし…… 監督だつて、そう言つてたじゃないですか？

大塚

……

滑川

自信もつてくださいよ、頼子さん。「どこにも行けない道」が公開されたら、頼子さんは大スターになっちゃうんですから…… いらないうつて言つたつて、手に入っちゃうんですから、名声とか……

大塚

名声なんていららない…… 私はこれだけで十分なの……

滑川

愛おしげに「オープンハート」を見つめる、頼子(大塚)。

大塚

遠い目でそれを見つめる、滑川……

滑川

(呟くように)真ん中にぽっかりと穴のあいたハート…… 埋め尽くせない空洞の心…… まるで……

断片 (14)

照明がゆっくりと元に戻っていく。ともなう、滑川の幻想も遠のいていく。大塚はすでに頼子ではなく、そして、行ってしまうている滑川の瞳をのぞき込む。

大塚

・・・で、これ、首にかけたままでいいのかい？

滑川

(夢から覚めて)ええ、そうです。頼子役を表してるシンボルと想ってください

い・・・ さあ、皆さん準備いいですね？ では、参りましょう・・・ アクショ
ン！

舞台が暗転する・・・

― 夜桜・お七 ― 興信所動く ― スイス銀行川越支店 ―

花吹雪が立っている。コップでも洗っているような仕草。

花吹雪は演歌パブ「止まった時間」の女店主である。

そこに滑川が現れる・・・

花吹雪

・・・シローちゃん、お久しぶりね。

滑川

最近忙しくって、なかなか顔出せませんよね・・・

花吹雪

水割りでもいい？ でもね、忙しいのはいいことよ、シローちゃん。日映セントラルが解散してからって言うもの。この店もぼったりでき・・・

滑川

昔の撮影所仲間、みんな自分の生活で「いっぱいいっぱい」みたいですから・・・

花吹雪

関西の方、飛んじやったヤツもいるし・・・

花吹雪

ほんと、たまに顔見せてくれるのは、シローちゃんぐらいね。で、達哉君は元気？

滑川

元気に決まっているじゃないですか。今や「飛ぶ鳥を落とす」って言うんです

花吹雪

か？ っていうか、人工衛星でも落としかねない勢いですよ・・・

花吹雪

ほんとよかつたよ。この店から、そんな有名人が出るなんてね・・・ これで、

滑川

店たたんでも、思い残すことは・・・

花吹雪

店たたむって？

滑川

ああ、潮時かと思ってる・・・

滑川

待つてください。ここはピンク映画の関係者が引きも切らず集まってきた、粹で

花吹雪

いなせな演歌パブ「止まった時間」ですよ。僕らの青春のたまり場なのに・・・

滑川

ご最前にしてくれた日映セントラルがなくなつたんだよ。しょうがないだろう？

滑川

だめです。店をたたんじやだめです。

花吹雪

だめです言っても、商売が成り立たないんだからさ……分かったよ。じゃあ、代わりに最後に私が思いを込めて、一曲歌って聞かせるよ。この小春が万感の思いを込めて、三味をつま弾き歌います。歌うは……

滑川

歌はいいです。

花吹雪

いいのかい？

滑川

長くなりそうだから……

花吹雪

残念だね。

滑川

（歌はいいけど、店はたたんじやだめですよ。この店がなくなったら……

花吹雪

シローちゃん。もう決めちまつたんだよ……

滑川

そうですか……（悲しい顔で俯いてしまう）

花吹雪

悲しい顔するなよ。こつちまで悲しくなつちまうだろ……分かったよ。そんな

滑川

あんたに、この歌を送るよ。小春が万感の思いを込めて、三味をつま弾き歌

花吹雪

います。歌うは演歌の王道。そう、「夜桜・お七」……

滑川

どうしても歌いたいですか？

花吹雪

（顔をぶつかるほど近づけて）どう思う？

滑川

とても歌いたそうに見えます……

花吹雪

だったら……

滑川

アドリブは許すと言いましたが、歌は許可しておりません……

花吹雪

そこをなんとか……

滑川

（首を横に振る）話を進めましょう……

花吹雪

しぶちんだねえ。……ああ、そうそう、言い忘れてたよ。

滑川

なんですか？

花吹雪

興信所が動いてるみたいだよ。

滑川

興信所？

花吹雪

探偵が来たんだよ。ここにさ。頼子ちゃんの情報探りに……頼子ちゃん

滑川

親元が頼んでるんだろ、きつと。

滑川

ええ、頼子さん、能義監督と一緒に家出同然でこち出てきたって言ってたらしいですから……でも、今度のV.C.G.の「こちも行けない道」が公開さ

れた時点で、親元に頭下げに行くって言ってきました。ほら、今度のは、ピンク映画じゃないし……

花吹雪

おや、シローちゃんまで、ピンクの悪口言うようになったのかい。

滑川

違います。一般の人の受け取り方ですよ。僕は今でも日映セントラルのことを愛しているし、それにピンク映画は日本映画の原石みたいなもんだと思っ

花吹雪

ています……本当です。

滑川

ごめんよ、シローちゃん。揚げ足とるようなまねして……

花吹雪

いえ、別に謝らなくても……それで、その興信所の探偵のことなんですけ

滑川

ど……

花吹雪

一応は、うまくかわしておいたんだけどね……ほら、頼子ちゃん、あれだけ

花吹雪

忙しいって言うのに、ちよくちよくこ来るだろ？ だから、この店が張り込

滑川

みされてたらと思うと気が気じゃなくてさ……

花吹雪

その探偵って、どんなヤツでした？ 僕、外見回ってみますよ……

滑川

相手はプロだよ。トーシローに見つかるような、へばい張り込みなんかしちゃ

花吹雪

いねえだろ。それに……

滑川

それに、なんですか？

花吹雪

その探偵って言うのが……

花吹雪

舞台袖から、結城晃蔵（頼子の父・仲根）とその秘書（西岡）が現れる。

仲根

（葉巻を燻らせつつ）……すると、今度の探偵は今までの役立たずどもとは違

西岡

うというわけだな？

西岡

はい。全く違います。比類なき関東一の「探し屋」だそうす。埼玉を中心

仲根

に東京、神奈川、北関東にいたる広い領域をカバーしている、その道のプロで

西岡

す。きつと頼子お嬢様を見つけたし、連れ戻してくれるはずす。

仲根

そんなにすごいヤツなのか？

西岡

ええ。資料によりますと、粗忽者の女子大生が三年前に江ノ島の海岸でな

西岡

くしたコンタクトレンズを五百日かけて、見つけたという頑張り屋さんの

一面も・・・

仲根 大丈夫なの、そいつ？

西岡 お会いになりますか？

仲根 ああ、会ってみたいものだ・・・

西岡 すでに、お呼びしております。

仲根 手回しいいのう、お前・・・

西岡 関東ナンバー1の探し屋。その捜索方法のあまりの冷徹さに、人は彼を、畏敬の念を込め、こゝろ呼ぶそうです。「川越のターミネーター」と！

音響。そして、いかした照明。舞台後方に、アレックスが現れる。そしてその背後に隠れるようにして、賀茂。

アレックス 「川越のターミネーター」こと、アレックスだ。

賀茂 そして助手の賀茂愛。人は私を「川越のキャッツ・アイ」と呼んだりもするかも・・・

仲根 ……大丈夫なの？ この人たち？

アレックス 任せておけ。

賀茂 結城さん。あなたのお嬢様は必ずや、私たちが見つけだし、連れ戻します。とりあえず、活動資金として前金で三万スイスフランを俺のスイス銀行の口座に振り込め。

仲根 (西岡に)三万スイスフランって、いくらだ？

西岡 (そろばんをはじくかのごとく、指を宙で動かし、真剣な面もちで仲根を見る)・・・分かりません。

仲根 お前、今計算してたんじゃないのか？

賀茂 それに、無事お嬢様を連れ戻せたときには、成功報酬として、三万スイスフランをスイス銀行の口座に振り込むこと。

仲根 分かった。(西岡に)しかし、スイス銀行ってどうやって振り込むんだ？

西岡 (真剣な面もちで仲根を見て)分かりません。

アレックス その辺りのキャッシュ・デイス・ハンサーからでも大丈夫だ。

賀茂 そう。スイス銀行・川越支店だから・・・

仲根 スイス銀行って川越に支店持ってたの？

西岡 (感慨深げに)さすが、国際都市、川越。

仲根 (西岡に)そうなの？

西岡 (びつくりするくらい真剣な面もちで仲根を凝視し)分かりません。

仲根 (西岡に)あのなあ、お前・・・
入金が確認され次第。捜索を開始する。任せてくれ。頼子お嬢様は、必ず取り戻してみせる・・・

と、懐からバタフライナイフを取り出す。一回転したナイフは、アレックスの手にしっかりと握り込まれ、禍々しい光を放つ。

アレックス ……生死を問わず。

仲根 問うだろ、生死は？

アレ・賀 では！

と、言うが早い、奇術のように舞台上から消え去る二人。

仲根 (西岡に)大丈夫なのか、マジで？

西岡 (とつともない真剣な面もちで仲根を凝視し)分かりません。

と、仲根と西岡も逃げるように舞台から消え去る。

花吹雪と滑川に明かり。

花吹雪 ……まさに、機械のような男だったよ、そいつ。

滑川 それに、性格歪んでそうな女か・・・

花吹雪 (淡々と)そりゃ、言い過ぎだろう。

と、血相を変えて駆け込んでくる大塚(頼子である)。

滑川 よ、頼子さん！

大塚 よかった。滑川さんがいて…

花吹雪 どうしたんだい？ 血相変えて…

大塚 見つかったの。パパが雇った探偵に…

滑川 なんだって！

大塚 このままだと、連れ戻されちゃう。そうしたら、もう、今の生活には戻れない…

滑川 ……パパはそんな人なの！ ねえ、滑川さん。達哉はどこ？

大塚 監督は今、新作のオープンセットの進行状況を見に、青木ヶ原樹海に…

滑川 連絡は？

大塚 取りようが… すみません、分かりません。

滑川 達哉に会いたいの、今すぐ！

大塚 明後日の午後には戻るはずですよ。それまで、僕のアパートに。汚いですけど…

大塚 ……

大塚 いえ、達哉に、達哉に会いたいの…

大塚 と、舞台後方に人影。アレックスと賀茂である。

大塚 ……

大塚 ……

大塚 ……

大塚 さあ、頼子お嬢様。一緒にお父様のところへ帰りましょう。

大塚 いや！

大塚 いやじゃないでしょう？ あまりにも聞き分けがないと、こちらとしてもかなり手荒なまねを…

大塚 ……

大塚 ……

大塚 ……

滑川 止める！（大塚の前へ踏み出し、守ろうとする）
賀茂 どいてな、三下！

と、大塚と滑川の背後から声がする。花吹雪の声だ。いや、これはお竜の声か？

花吹雪

おうおう、さっきから聞いてりや。いい気になりやがって。いやがる娘に無理強いかい？ そいつの親父に、何両積まれてやって来たなど、聞きたくもねえが… 傍若無人なその態度、ちと目に余るぜ… いや、あたいは盲めしいのはなれ警女、耳に余って仕方ねえんだよ！

舞台袖から、ここぞとばかりに駆け込んでくる仲根と西岡。

仲根

喧嘩が江戸の華ならば、摘まねばならぬが悪の華。

西岡

悪人退治のどき回り、独りぼっちで西から東

仲根

黄門様には助・角が、はなれ警女には三味と杖

西岡

飛車角落ちの捨て鉢将棋、極悪非道の悪の王駒

花吹雪

詰めるものなら、詰めましょう

仲根

光はなくとも、その先の、心の灯火(ともしび)守るため

西岡

太竿三味に仕込みの刃

花吹雪

じよんがら弾いて悪を斬る…「はなれ警女・お竜」ここに推参！

絶妙のタイミングで、滑川と大塚が左右に体を開く。

背後におわすは、「存じ」はなれ警女・お竜！

抱えた三味を逆手に持ち替え、一歩前に踏み出す。

三味線の竿から仕込み刀を抜き、袈裟がけに斬りつけようとしたその刹那。

滑川がぼつりと呟く…

滑川 はい、カット。

周りのみんな、「何で？」と突っ込む。

仲根 ここからいいところなのに。

滑川 シナリオに「はなれ警女・お竜」は出てこないでしょ。

西岡 でも、流れ上二こうなりそうじゃん……

滑川 なりません。アドリブはよいと言いましたが、シナリオを書き換えてはいけません。いいですか、ここは主役の頼子が、大塚さんの役ね、その頼子が興信所の探偵に追われて、青木ヶ原樹海目指して、愛する能義監督を求めて、逃走を開始するシーンなわけですよ……ここで、「はなれ警女・お竜」が出てきて、探偵を切り捨てちゃったら、話終わっちゃうでしょ？ ぴたーと！

ムゲン 俺は「川越のターミネーター」なわけだから、何度斬られても不死身ということにすれば……

賀茂 そうにや。

滑川 そうにや、じゃない！ 減点しますよ。みんな減点しますよ！ つていうか、今のイエローカードですから……気を付けてくださいね！

花吹雪が、息を殺して静止しているのに、大塚が気づく。

大塚 どうした、小春さん？

花吹雪 「はなれ警女・お竜」は途中で止められないんだ……

仲根 苦しそうだな……分かるよ、その気持ち……

花吹雪 斬りたい……

西岡 だよー

滑川 (そんな花吹雪のことなど、気にせず)では、先を進めましょう。頼子が樹海

賀茂

の入りにやってくる。そこに追っ手が現れる！

(小声で)小春はん。精神衛生上よくないで。斬って捨ててまえばええねん！

花吹雪、条件反射的に背後から、滑川を袈裟がけに斬ってしまう。

「どっおえあう！」と倒れる、滑川。

花吹雪

悪斬る音は、嫌な音だぜ……

周りのみんな、拍手する。スタンディング・オベーションだ。

滑川がすつくと立ち上がり……黄色いカードを高々と示す。

滑川 全員。イエローカード。マジで……

暗転。

― ポジティブ ― 希望が死因となる? ― 陥没 ―

舞台袖から現れる久米田。その後を追うように木暮崎も登場する。
疲れ切ったような木暮崎。

木暮崎 ……久米田さん。そんな一人でどんどん歩かないの! なあ、いたずらに、ぐるぐる回ってるだけのようないか? 大丈夫なの?

久米田 大丈夫です。見てください、足下を… 下草が踏みしだかれているでしょう? これこそ、彼らを通った跡です…

木暮崎 そうか? 俺たち自身のものでたりして…

久米田 剣さんはどうして、そうネガティブにものを考えちゃうのかな?

木暮崎 そりゃあ、ネガティブにもなるだろう? 約二十四時間、樹海の中で迷子になっちゃってるんだよ。その上、ずうっと鯖の味噌煮しか喰ってないんだよ。っ

ていうか、口の中、鯖臭くって、それだけでも滅入るつてもんだろ?

久米田 鯖はこの際関係ないでしょ… いいですか? 希望を捨ててはいけません。常にポジティブ! 常にポジティブに参りましょう!

木暮崎 ポジティブ言ってもなあ…

久米田 とにかく、たどり着かねばならないんですよ、樹海の中のオープンセットに。

木暮崎 いろんなことがあつてもね…

久米田 ほんとにあるんだよね、それ?

木暮崎 信じてます。

久米田 信じてるだけか?

木暮崎 確信です。確信してるんですよ、私… あの夏と同じだから…

木暮崎 あの夏?

久米田 あの夏。誰もいない夏。十数年前の出来事。一人の女を私は乗せた。この樹

木暮崎

久米田

海の前まで… きれいな人だった。胸元で銀色のペンダントが、真夏の陽光を反射して、きらきら輝いていた。「精進湖登山口まで…」その人はそう言った。誰もいない道を、一台の車ともすれ違うことなく、私たちは走った。「精進湖で何があるんですか?」私は聞き、「待ち合わせ」そう彼女が恥ずかしそうに呟いた… 結城頼子…

は? 誰?

結城頼子さんでした。「どこにも行けない道」の主演女優… 映画を見てあとから分かったんですが、確かにそうでした。あのころは「そんなはずはないだろう…」なんて思っていました、今では確信しています。あれは結城頼子さんだったと… だいぶ後になってから、彼女が失踪したという話を聞きました… 一部では有名な話だったそうですが、私そういうゴシップみたいのに疎くて… その時になって、やっと気づいたんです。彼女がここの中に消えたんだっていうことに… でもあの時はとても自殺するなんて風には見えなかったんです。希望に満ちあふれたような顔をしていましたから… (ジャケットの内ポケットを探り、紙切れを取り出す)これは、彼女が後部座席に残していった置き手紙です。いや、置き手紙だと思っているのは私だけ… たぶん覚え書きか何かを偶然落としただけなんじゃないか…

手紙を木暮崎に渡す。木暮崎、さりと読んで、久米田に返す。

久米田 人は、希望によつて死ぬことがあるんでしょうか?

木暮崎 さあ? 希望は死因にならねえだろ…

久米田 ですよ。私、昨日ね、あの登山道入り口の駐車場で、頼子さんはこの樹海の中のオープンセットにいるんじゃないかって、ふいに思っちゃったんです。だから、前後の見境なく…

木暮崎 あん時は、やけに勇ましく見えたけど、やつぱり思慮の浅い行動だったのね? ね?

久米田 だから迷ってるわけで… でも大丈夫。何となくそんな気がするから…

木暮崎 やっぱ、思慮の浅い男だよあんたは！
久米田 そこが久米田さんの魅力でしょ？

と、唐突に突き上げるような振動。

木暮崎

ら、あのあたりにも陥没したあとがあるでしょう。
(陥没地帯まで走っていき、のぞき込む) …うわ、こりや、落ちたくねえな
ー… っていうか、(客席を見て)とんでもないところに来ちゃったみたい
ね…

木暮崎 ななん、何？

久米田 じ、地震だ！

木暮崎 地震！

這いつくばる、久米田。だが、しかし、地震はすぐに収まる。

木暮崎 何だよ。プチ地震かよ。脅かすぜ、全く…

額の汗を拭う木暮崎。ふと傍らを見ると、地面に這いつくばった久米田。木の根にでもしがみついている風…

木暮崎 ありゃ？ 久米田さん。地震が恐いんだ…

久米田 当たり前じゃないですか！

木暮崎 久米田さんにも恐いものがあつたつてことだね！ 剣さん、死体とか、超常現象とかはダメだが、地震とか雷とかにはめっぽう強いよ。

久米田 あのね。剣さん…ここがどこだか知っていますか？ 樹海ですよ。この地面は溶岩で、その内部には所々大きな空洞が出来ていたりするわけですよ。その上のところが、ぼろぼろになつていたら…

木暮崎 ちよつとの地震でも…

久米田 陥没。

木暮崎 ひよえーっ！ 言つてよ。それ最初の方に言つてよ！

だから、地震が来たら、こんな感じで木の根につかまるんです。気休めみたいな
なものですけどね… 最近、頓に多いですからね。こんなせこい地震…ほ

不安げな木暮崎の顔を一瞬浮かび上がらせつつも、暗転。

― 初期微動 ― 直下型じゃないじゃん ― 秋の新作? ―

走り込んでくる滑川。

他の役者連中も、一瞬のうちに舞台に現れる。

滑川

… 興信所の探偵に追われ、樹海に活路を見出そうとする、頼子。そこに強引に挿入される「回想シーン」! 頼子と達也の学生時代。シーン・ナンバー7。「スバル座にて」。よーい、アクション!

と、突然、突き上げるような振動。地鳴りが響く。
全員、腰を低くする。

花吹雪

地震?

西岡

そうだ。初期微動… すぐに主要動(横揺れ)がやってくる。

仲根

P波の伝達速度は毎秒5km、そしてS波は3kmだ。震源との距離が六十キロメートルであれば、本格的な横揺れが到達するまでに八秒間のタイムラグが生じる計算になる…

仲根

じゃあ、八秒後に…
それだけじゃない。もしかしたら、富士山の噴火が誘発される可能性もある…

花吹雪

富士山火口から、花梨ちゃんの頭程度の大きさの火山弾が、雨やあられと!

西岡

人の頭部を比喻に使うな!

花吹雪

花梨ちゃんの頭部が雨やあられと降ってくるのか?

西岡

違うだろ! 変な想像するな!

賀茂

それ、ごっつ、きもいじゃん。さぶいぼ出るわ…

西岡

お前もだ! それに「にやー」忘れてるぞ、「にやー」…

仲根

身構えろ! 横揺れがやってくる

全員、つい身構えてしまいが、大塚と滑川だけは突っ立ったままである。

大塚

(腕時計を見て)先程から、すでに一分近く経過してしまっているようなんです…

滑川

震源が四五〇キロメートル離れていれば、初期微動は六十秒に…

賀茂

それって、もう直下型じゃないじゃん。っていうか、すでに収まっているし、地震…

賀茂

どうしたにや? アレックシユ…

仲根

アレックスの膝が傍目にも分かるほど、震えている。

仲根

どうした? 痙攣か?

仲根

違う… (小さな声で) 怖い…

賀茂

(賀茂に) なんだって?

仲根

怖いって…

賀茂

はあ?

仲根

怖い、地震… 俺、だめなんだ、地震…

仲根

サイボーグ戦士なのに、地震はだめなのか?

花吹雪

いかにサイボーグ戦士とはいえ、地震を止めることは出来ないだろう? だから、恐いんだ!

花吹雪

そりゃそうだが、地震以外にも止めることの出来ないものが、あまたの数ありそうだが…

花吹雪

恐れて当然だろう? 東海大地震、それに誘発される大津波、そして富士

花吹雪

山が…

山大噴火、まさにアーマガディオン……しかし、それは地獄の入り口にすぎない。本当の恐怖は、この地震によって制御不能に陥った浜岡原発のリアクターだ。本来なら、緊急停止システムにより止まるはずの原子炉が暴走を開始した……

仲根 (何故か流れに乗っちゃう) 何故だ! どうしてECSが作動しないのだ!

賀茂 浜岡原発四号炉の温度上昇が止まっています。現在三六九度!

西岡 危険だ。このままでは爆発するぞ! どうにかしなくては……緊急対策チームを向かわせるんだ!

賀茂 だめです。老朽化した一号炉が地震の直撃を受け倒壊した模様。多量の放射能が漏れ始めています。もはや、誰も近づけません……

仲根 こうなったら、あの男に頼むしかあるまい……

西岡 あの男?

仲根 サイボーグ戦士、アレックスV2000……

ムシクム (すつくと立ち上がる)

賀茂 しかし、あの男は地震が大の苦手です!

ムシクム そうなの……(こむ)

仲根 そんな「たれ」のサイボーグ戦士が、果たして世界を救えるのか! すでに、炉心温度は四百度を突破! 残された時間は十分ぐらい! 世界の終わりが迫ってる! そんなアレックスの頼れる相棒、「クラッシャー・牛山」役に、かの名俳優・仲根和彦。

賀茂 暴走する原発に何故か閉じこめられた「美少女」役に、アイドル系の賀茂愛!

西岡 逃げ遅れた「うっかり者」の近所のおばさん役に「ワン・ナイト・シンデレラ」の西岡花梨!

花吹雪 そして、この「艶華劇@JONGARA 艶姿」の花吹雪小春も、偶然「はなれ瞽女・お竜」も静岡にいた!、みたいな感じで、友情出演だ!

「もういいだろ?」と、間髪入れずに、且つ冷静につっこむ、仲根、西岡、賀茂、

そしてアレックス。あまりの悪乗りぶりに、大塚と滑川がついに切れ、「くら!」と時を置かずつっこむ。

大塚 それは、豪華キャストで送る「Burnin, Chrome 00」秋の新作か?

滑川 つていうか、どつかで聞いたことのあるような話だし……

大塚 こんな小さな地震でびくびくしないの、アレックスも……さあ、次行くよ。滑川さん、はい!

滑川 では、今のシーン続けますよ。アクション!

滑川を除くすべての役者、疾風のごとく舞台より消え去る。気づくも舞台後方に能義がいる……

断片 (17)

― バブル崩壊 ― すべてが灰に ― スバル座にて ―

能義

舞台先方に滑川。その後方に能義。

能義は焚き火をしているようだ。背中を丸めて、「ベチカ燃えろよ。お話し

ましよ……」とか、調子外れに口ずさんだりしつつ……

滑川がそれに気付き、血相を変え駆け寄る。

滑川

能義

滑川

能義

滑川

能義

なに燃やしてるんですか！ それ、「ビリディアン」の絵コンテでしょ！

滑川、決死の形相で、焚き火の中から絵コンテを拾い上げ、点いている火を

叩き消す。しかし、その大半がすでに炭になってしまっていて、叩いたそばか

ら、ぼろぼろに崩れていくのだった……

滑川

能義

滑川

能義

滑川

能義

……これ、大変だったのに！ あんなに苦労したのに！ どうして、燃やしち

やったりするんですか？

もう、いらねえから……

いらないうって……

いらぬもんは、いらぬもんだ。いいねえ、お前が叩くそばから、ぼろぼろ

に崩れていく……

監督！

俺はもう監督なんかじゃねえよ。やめたんだよ……

やめたつて…… 鴨川がだめでも、他で……

他？ あほか、お前？ どこがあるっていうんだよ！ 俺、もうやめたから、

映画……

監督……

仲根

能義

仲根

監督じゃねえって言うてるだろ…… だからな、「能義組」はもうねえんだ。お前も先のこと考えろ！ AV行くもよし、ピンクに戻るもよし…… 戻るって言うつても、俺たちの古巣、「日映セントラル」はもう消え失せちまつてるけど…… ぱしろう、「新東宝」か「大蔵」の知り合いに頼んでやろうか、お前のこと？ いい顔はしてくれねえだろうが、俺が土下座して頼めば、哀れんでくれるかも……

やめてください、そんなこと！ なんて、「能義達哉」が土下座なんか…… そんなこと、させられるわけじゃないじゃないですか！

ぱしろう……

なんでですか？

俺な、こんな風に焚き火しながら、昔のこと…… すごい昔のこと、思い出した……

……

十八の時、高校に行かなくなつて、俺は田舎の名画座、「スバル座」っていう名前だったんだが、そこに入り浸つた…… そのスバル座のオヤジっていうのが、結構変わり者で……

舞台奥に、ほうきを持ったオヤジ(仲根)が現れる。

…… たつちゃん。アメリカン・ポップコーン・マシンの電源入れといてくれ。アメリカン・ポップコーン・マシーン…… 閑古鳥が鳴きまくっている「スバル座」に客を引き戻すため、借金までして借り入れたポップコーン製造器だった。いいねえ、このコーンの弾ける音。このカラメルは甘く、香ばしい香り…… たまらんねえ。さすが、アメリカ直輸入のハイパー・マシーンだね……

こんなもんで、客を呼び込めるはずもなく、動かせば動かすほど、赤字になるっていうのに、あの野郎は……

バター、ケチっちゃだめだぞ。そのチューブに入ってるヤツ。バターがぐでぐでに入つてないと、映画館って感じがしないだろっ？

能義

ちつとも気にとめてないんだ。結局売れ残ったポップコーンは、その夜、俺とオヤジの空きっ腹を満たすことになる。

仲根

(ちらりと、腕時計を見て)そろそろじゃねえか、たつちゃん？

能義

あの娘がくるの……恋人の頼子ちゃん……

仲根

よしてくれよ。恋人なんかじゃないよ。学校ふけまくってる俺を、連れ戻そうとしてるだけだよ。それも担任の山本に言われて、仕方なく来てるだけろっ？

仲根

仕方なく？ そんな風には見えないけどお……

能義

あいつは、生徒会長だったか、風紀委員長だったか、そんななの！ だから……

仲根

登校拒否の不良と優等生のお嬢様……不釣り合いな故に、更に燃え上がる恋心っていうところか？

能義

それ以上ほざいたら、殺すぞ、オヤジ！

仲根

おー、こわっ……でもさ、たつちゃん。あの娘、結城さんところの末娘なんだっ？？ 驚いちゃうよな……

能義

ああ、そうみたいだな……いいところのお嬢ちゃんなんだよ、実際……

仲根

(ふと、人の気配に気づき)いらっしやいませ。たつちゃん、噂をすれば、何とやらっ？か……

大塚

舞台後方に、セーラー服姿の結城頼子(大塚)が立っている……

仲根

……こんばんは、達哉君。おじさん、今夜から、新しいのが掛かるんでしょ？

能義

こんばんは、頼子ちゃん。そうなんだよ、今夜から、新しいのなんだ……

大塚

「天井敷敷の人々」。マルセル・カルネの……

能義

フランス映画？

大塚

長いのは平気。おじさん、おいくら？

仲根

今夜は、いいよ、只で……それに、たつちゃんも、見ときなよ。もぎりは俺がやつておくから……

大塚

ありがとうございます。じゃあ、お言葉に甘えて一緒に見ようよ、達哉君……

能義

おい、オヤジ……

大塚

さあ、早く……

仲根

あつ、頼子ちゃん。観劇のお供にアメリカン・ポップコーンなんてどう？ アメリカ直輸入、香り立つカラメル風味なんだから……

能義

どうしようかな？

仲根

おいしいから食べときなさい……はい、三百円。

能義

そこは金、取るのかよ。

仲根

商売ですから……はい、たつちゃんも……

能義

(ポップコーンを手渡されて)俺はいいって……

仲根

いいの、いいの。バイト料から引いとくから、三百円……

能義

おい！

能義

照明が、能義と滑川だけになる。

能義

そんな「スバル座」も、その後、数ヶ月後には潰れちゃった。配給会社の経営方針の転換で、名画が回ってこなくなっただけ……正しくは、配給先から「売上げの歩合制」を求められたからなんだけど……田舎の名画座「ときがそんな配給方法についていけないわけがねえ。フィルムのない映画館は、魂を抜かれた木偶人形みたいに、ひっそりとしちやつて……そんなある日、スバル座のオヤジがトングラした。俺に一言の挨拶も無しに……俺が知らないところで、結構な借金抱えてたのかもしれない。スバル座はあつという間に取り壊され、そこに真つ白なビルが建った。こんな田舎には不釣り合いな「高級ブティック」が軒を連ねる瀟洒なビルだ……みんな、俺のもとから去っていった。それも、

なんの挨拶も無しに……すべて消え去っていった……スバル座のオヤジも、そして、頼子も……

能義、立ち去ろうとするのを、滑川が制する。

滑川 どこへ行くんですか？

能義 呼んでるんだ。頼子が……

退場する能義。残された滑川……

滑川

(呟くように)能義監督、頼子さんって……頼子さんって……だめです。そっち(行)っちゃいけない……(そして、力の限り叫ぶ)やめろおー!

舞台全体に明かりが点る。

なぜか土下座をしている仲根。

仲根

はい、やめます。すいませんでした。つい吹き出してしまいました……セーラー服で出てくるなら、最初っから言っておいてくれるとありがたかったです……が……

わらわら出てくる、役者連中。

西岡

でも、仲根さんのせいとばかりは言えないですよ。袖で、こいつ(賀茂)が手を叩いて笑ってるんだもん……

賀茂

可笑しいから、笑っちゃったんにゃ!

大塚

やっぱり、ちよつと痛かったか?

仲根

実年齢知っているだけに……

花吹雪

そーとー痛かったな。

役者全員、力強く頷き合い、そして、滑川に向かって土下座する。

全員

このシーン、もう一度お願いします!

滑川

(しれっと)次、行きましょう……大塚さんは、それ脱いじゃってください。

じゃあ、次行きますよ。最終シーンへつながる、最も重要なシーン。シーン・ナンバー8。

暗転。

— アンリ・ムオー — 死せる石の都 — 呼ばれてないし…… —

明転すると木暮崎と久米田が抱き合っている。その輝かしいばかりの笑顔。

久米田 フランス人博物学者のアンリ・ムオーはカンボジアの密林の中で、壮大な石造

寺院を発見しました…… 昆虫採集に来たんだよね、ムオーは。でも、「この密林の奥には『死せる石の都』がある」という村の古老の話を鵜呑みにして、昆虫採集なぞどこ吹く風で森の中をかけずり回ったってわけ……

木暮崎 世紀の発見、アンコール・ワットか？

久米田 そう。まさに、これ！「ここだけの話、アンコール・ワットなんて、地元民にとっでは、発見でも何でもなかったと言います。みんな知っていたと……でもね、これは地元民の私でも目にするこのなかった、本当の秘密。樹海の中の『光の都』」

木暮崎 でも、本当にあつたんだな…… っていうか、みんなここにいるんだよね？ 実際、心細くなつてたよね。二人つきりで、樹海の中……

久米田 ポジティブと言いつつ続けたこの私ですら、心の中では「死」という言葉が飛び跳ねておりましたよ……

木暮崎 やっぱりそうだったの？

久米田 はい、実際そうでした。でも、鯖の味噌煮も底をつきかけたところでしたから、ほんと、助かったといったところですよ…… まあ、普段の心がけが良いからでしょうが。

木暮崎 ……感じる。こんなに離れていても、奴らの気配を感じる……

久米田 感じますか？

木暮崎 役者のオーラっていうの？ そんなんが反応し合うのよ！ 待つてろよ、キャサリン。ちよいと遅れたが、看板役者の登場だぜ……

と駆け出そうとする、木暮崎。だがしかし、はたと止まる。

久米田 どうしたの？

木暮崎 よく考えたら、俺、オーディションに呼ばれてないんだった。

久米田 それは聞きましたか……

木暮崎 どうしよう、久米田さん。呼ばれてもない「招かれざる客」が、その演技力を示すにはどうしたらいいだろう……

久米田 さあ？

木暮崎 そうだ。二人でナイスな小芝居をうてばいいんだ！

久米田 小芝居？

木暮崎 パワフルでいてちよとセンチ、そしてハート・ウォーミングな小芝居をすればいいんだ。これで、映画スタッフの心をがっちりキャッチって寸法さ！

久米田 寸法って、あんた！？

木暮崎 例えば……

と、木暮崎、久米田を先導して「寒い寸劇」を演じる。

当然、この寸劇は「完全自立型」だ。つまり「全アドリブ」だ。

その上、毎ステージ日替わりで行う事。

真夏の劇場に、はらわたが凍るほどの「寒さ」を呼んでくれ！

久米田 ……つて、これじゃ、かなり「寒い」でしょ？ ハート・ウォーミングっていうより、

木暮崎 ハートが凍傷つて感じ？ 引き潮みたいに、みんな引いちゃうつて感じ……

久米田さん。相方がそんなこと言い出したら、にっちもさっちも……

木暮崎 と、唐突に低い地鳴り……

木暮崎 なに？ またなの？ また地震の気配？

木暮崎

久米田　　そうみたいです……今度のは大きそうです。早く、木の根っこにつかまって！

断片 (19)

爆竹がはぜるように舞台から走り去る、二人。

― 樹海の中へ ― 大五郎、満タン ― 背後に逃げ場なし ―

舞台上に滑川。

滑川

シーン・ナンバー8。「そして樹海の中へ」。興信所に追われた頼子はいよいよ樹海の中に逃げ込んだ。樹海の中には、愛する達也がいる。頼子は追っ手から逃れ、無事、達也のもとへ辿り着けるのか？ このあとのシーン、シーン・ナンバー9「逃走」はブランクページ、空白です。そのまま流れで繋がります……いいですね？ そして、頼子を追う探偵達……

舞台袖から、アレックスと賀茂。

滑川

川越のターミネーター。そして、その相棒の「猫」。ターミネーターの手中では、バタフライナイフが禍々しいばかりの光を放つ！

見得を切る、アレックスと賀茂。

滑川

彼らだけではない。興信所は、頼子を追うため最高の刺客を送り込んできたのだ。メガトンパンチが宙を裂く、越谷の産んだ最終兵器「クラッシュ・牛山」

舞台袖から、仲根。そして、見得を切る。

滑川

そして、妖刀・村雨が怪しく光る。秩父の女剣士、「お稲」！

舞台袖から、花吹雪。そして、見得を切る。

滑川
そして……

舞台袖から、西岡。

滑川
逃げ遅れた粗忽者の「近所のおばさん」!

西岡、見得を切る。

滑川
(ふと、我に返り)……いいの? ホントにこんな配役で……

全員、力強く頷く。

滑川
そして、逃げる頼子。

舞台後方に、大塚。

唐突に、舞台は大塚と滑川のサスのみになる。

滑川
……頼子さん。とにかく、僕のアパートに隠れていてください。これ、僕の部屋の鍵です。

大塚に向かい、鍵を投げる滑川。大塚がそれを掴む。

滑川
いいですか、今日中に監督に連絡付けますから、このことを伝えますから……くれぐれも、興信所の連中には気を付けてください。

頷く大塚。脱兎のごとく退場。

電話の呼び出し音。

賀茂の上にサスが降る。

賀茂
はい。鴨川事務所です。

滑川
すみません。能義監督に連絡を取りたいのですが……

賀茂
どちら様でしょうか?

滑川
今度の映画「ビリディアン」の迷宮の助監督の滑川です。今、能義監督は、鴨川社長と一緒に樹海のオープンセットにいつているんですね? 至急連絡

賀茂
を取りたいんですが……

滑川
社長と監督は明後日、こちらの方へ戻る予定になっています。それ以降でよろしいでしょうか?

賀茂
緊急事態なんです。今すぐどうにかありませんか?

滑川
明後日まで、お待ちいただくしか……

賀茂
お願いします。

滑川
わかりました。こちらから、そちらへ連絡するよう、伝えておきます……

滑川
ありがとうございます。

賀茂のサス消える。

滑川
(小さな声で)頼子さん、開けてください。頼子さん。僕です。滑川です。頼子……あれ? ドアが開いてる……頼子さん、戸締まりには気を付けな

滑川
と……いない。頼子さんが、消えた……

飛び込んでくる、能義。サスが降る。

よし! 頼子が消えたってどういう事だ? 何ですぐ連絡しねえんだ

よ! しました。連絡しました……

能義 ばしろう、探すぞ。実家含めて、虱潰しに……

滑川 あつ、あの……

能義のサス消え、アレックスにサス。

仲根のサス消える。花吹雪にサス。

ムシムシ (電話で)能義君？

花吹雪 もしもし、シローちゃん？

滑川 いえ、滑川です。

滑川 あつ、「止まった時間」のママじゃ……

ムシムシ 能義君は？

花吹雪 もう違うよ。店たたんだ。 たたんだつて……

滑川 今、ちよつと手が離せなくて。用件なら、僕が……

滑川 今、田舎帰つてるとこ。新幹線の中だよ……

ムシムシ そうか……じゃあ、例の件かなりまずくなつたと……

花吹雪 そんな……

滑川 例の件つて、まさか「どこにも行けない道」の公開期間が短縮されるんですか？

滑川 ごめんな、ばたばたしつちやつて。お別れ会でも、開こうかと思つただけど、シローちゃん、忙しそうだったから……あつ、シローちゃん家の玄関の所にボトルキープの「大五郎」おいたから、それも満タンにして……別れを惜しんで、飲んでやつてくれよ……

アレックス そうだ。今朝のA.G.G.の役員会で……

花吹雪 僕……

アレックスのサスが消える。能義にサス。

能義 樹海？ 頼子が樹海に？

滑川 あつ、トンネルだよ。じゃあ、元気だな、シロ……

滑川 そうかもしれないつて、いつただけです……

花吹雪のサス消え、能義にサス。

能義 探しに行くぞ！

能義のサスが消え、仲根にサス。

能義 ばしろう……もう終わったんだよ。バブルもはじけて、映画もはじけて……

仲根 頼子ちゃん見つからないんだろ？ あのさ、もう待てないから、「ビリディアンの迷宮」の主演女優。うちのプロダクションの新人使うから……

滑川 監督……

能義 監督じゃねえつて言つてるだろ……じゃあな……

西岡に一瞬サス。

能義にサスが消える。

西岡 花梨ちゃんでーす。よろびく！

滑川 みんな消えてく……みんな消え去っていく……泡みたいにはじけて……ど

仲根 そういうことで、滑川チャンの方から、能義チャンへ伝えておいてくれる？

滑川 うして、僕だけ置いてきぼりなんだ？ どうして……追いかければ、追いつ

くの？ 失ったものを、取り戻せるの……能義監督、頼子さん、「ビリディアンの迷宮」そして、僕の映画！

舞台全体が明るくなる。

滑川 シーン・ナンバー8。「そして樹海の中へ」。みんな、頼子を追いかけろ！

登場人物全員が、大塚を追うために駆け出そうとしたその刹那。突然、突き上げるような振動が舞台全体を襲う！

西岡 地震？

大轟音。激烈な横揺れがみんなを襲う。

滑川 どうしたんだ？ どうして追わない？ 頼子を追いかけろ！
賀茂 でも、地震……

滑川 逃げちゃうだろ！ また、このままだと置いてきぼりだろう！

滑川、烈火のごとく激怒し、アレックスの持っていたナイフを奪うと、駆け去っていく。

仲根 一体、どうしたんだ、あいつ？

花吹雪 危ない。地震でオープンセットが崩れるよ！

西岡 さすが安普請！ この程度の揺れで……

花吹雪 四の五の言っていないで、逃げるんだよ！

逃げ出すみんな。しかし、舞台前方で、賀茂がぴたりと止まる。

賀茂 アレックスは？

仲根 あれ？

賀茂 まずいやん！ あいつ、地震だめやったんや！ 腰抜けて動けんようになってるかも……

根。倒壊するオープンセットに駆け出ししていく賀茂。それを追おうとする、仲根。

仲根 お前なんで、関西弁？ つて、そんなことじゃなく、そっちへ行くな！

花吹雪、仲根を止める。

花吹雪 危ない！ 照明塔が倒れる！

照明塔が倒れる轟音。鉄骨の軋む音。そして、ガラスの碎ける音。

仲根 愛ちゃん！

舞台の他方で、アレックスがうずくまっている。少し離れて賀茂。

賀茂は必死になってアレックスを探している。

賀茂 アレックス！ 返事せえ、アレックス！ (ステージに大穴があいているのに気付

き)大穴や、ステージに大穴あいとる……(息せき切って、穴の縁に近づき、中に向かつて叫ぶ)アレックス！ おらんかい？ (穴の奥にアレックスの姿を確認する)アレックス！ 大丈夫かいな、自分？
……

アレックス

賀茂 返事せんかい！

アレックス (おびえきつている)……誰だ？

賀茂

私や。愛ちゃんや……今の地震で、野外ステージ全体が、崩れそうや。アックス、つかまるんや。早う……(手を差し出す)

アックス

……速く逃げろ。俺のことはいい。

賀茂

あほ！ 早う、つかまるんや！

また、照明塔が倒れる。轟音。首をすくめる、賀茂。

賀茂

その調子や、アレックス。今引つ張り上げるで……

賀茂

ステージ全体が歪いがんで、もう、支え切れんようになつとる……

アックス

速く逃げろ。俺のことはいい。

賀茂

出来るかい！ 早よ、手差し出さんかい！

賀茂

だめや。持ち上がらん……

アックス

恐怖で腰に力が入らないんだ……もう、いい。

賀茂

何が「もう、いい」や！ アレックス。よう、聞け。昔々の話や。私がまだ、大阪

におつた、うら若き頃の話や。ずうつとつきおうとつた男に捨てられたことがあるねん。そいつな、東京から来た女子大生に乗り換えてしようたんや。神奈川の女やつかいかいの？ そんなこと、どうでもええわ。とにかく、ぼろぞ

賀茂

ステージが崩れるで。南無三や、アレックス……

アックス

手を離せ……

賀茂

もう、離せへん……

うきん捨てるみたいに、捨てられてしようたんや。「なんで捨てるねん？」私聞いたんや。そんな時の男の言いぐさが振るつとた。「お前の関西弁、下品や。」言うねん。「関東の女性は上品や」言うねん。今にして思えば、その場

観念し、アレックスの手をきつく握りしめたまま、瞼を閉じる。

しのぎの、思いつきの理由やたんや。せやけど、そんな時の私はウブやたんや。こつと傷ついてしもうて……心に深い傷おうてしもうて。具はみ出

と、その傍らに仲根と花吹雪、そして西岡が立っているではないか！アレックスの腕を、賀茂の肩を、そして腰を掴む三人。

るくらい大きい傷や。飯も喉通らんで、骨と皮だけみたいになつて、体中に

賀茂

遅いやないか……

気色悪い吹き出物がでて、月のモンも止まつてしもうて……呪うたで、男と

賀茂

「すまないねえ」って感じで、軽く頷き「せいの」で、行くぜ！

その泥棒猫。毎晩、丑の刻参りや。火事でも雷でも地震でも、何でも死んで

花吹雪

掛け声とともに、アレックスを引きずり上げ……

しまえばええんや、あんな奴ら！心の底から呪い続けた、そんな毎日や

花吹雪

ステージが崩れる。逃げるぞ！

つた……ちようどそんな時や、あれが起こつたのは……あの大地震でな、二人

花吹雪

とも死んでしもうたんや。私が望んだ通りに……せやけど、心の傷は閉じ

んかつた。ますます大きくなつて、中の具、全部はみ出よつた。心の中のもの

花吹雪

全部、抜けてしもうた。残つたのは、呪いだけや。それも自分自身に対して

全部、抜けてしもうた。残つたのは、呪いだけや。それも自分自身に対して

花吹雪

ステージが崩れる。逃げるぞ！

力強く頷き、そして、一目散に舞台袖に駆け込む五人。
入れ替わりに駆け込んでくる滑川。

滑川

興信所の探偵に追いつめられた頼子は、危険を顧みず樹海の中へ踏み込んでいく。深く、もつと深くどこまでも……。しかし、探偵の追跡は執拗であり、もはや狂気の領域に踏み込んでしまったと形容してもよいものであった……。迷宮のような樹海の中。追う探偵。逃げる頼子。狂った鬼ごっこ……。ねえ、頼子さん。どこにいるんですか？ あなたは本当にこの中にいるんですか？ あの日、興信所に居場所を突き止められたあの日。あなたは能義監督のもとへ行くと言い放つて、一人、この青木ヶ原樹海へ向かった。僕の静止を振り切つて……。でも、本当にここに来たんですか？僕と監督は、あなたが消えたあの日、この三千ヘクタールのすべてを、文字通り風潰しに調べ尽くした。自分たちの力だけだけど、すべての区域を調べ尽くしたんだ！でも、どこにもいないんだもの。どこにも……。能義監督は、あなたがいなくなつてから、どんどんおかしくなつていった……。ふさぎ込んだり、急に怒り出したり、どんどんおかしくなつていった……

狂つたように舞台を駆け回り回る滑川。

滑川

頼子さん。本当にここにいますか？ バブルが弾けて、映画も弾けて、そして、能義監督までも姿を消した。あなたを追うと言い残して……。そして、僕だけがとき取り残された。フィルムに写し取られることもなく、朽ちていくだけの、樹海の中の未完成のオープンセットのように……。僕ひとりを取り残された……

舞台後方に頼子が現れる。頼子を見付ける滑川。

滑川

頼子さん……

大塚

(上方を見上げて)滑川さん。暗い中、走っていたら急に穴があいて……。きつとさっきの地震で、地面の溶岩が崩れてしまったんだと思う。うまく登れないの、手を貸して……

滑川

やつぱり、いたんだ……

大塚

お願い。

滑川

やつと見付けた。樹海の中にいたんだ！

大塚

(滑川の異変に気付き)滑川さん、どうしたの？

滑川

頼子さん。監督はどこですか？

大塚

監督？

滑川

能義監督のことですよ……

大塚

それはあなたの方が……

滑川

監督は十年も前にいなくなりました。

大塚

十年つて？

滑川

あなたのとこへ行ったんでしょ？

大塚

私の？

滑川

そうですね。頼子さんのところへ……

大塚

頼子つて……。私はキヤサリン大塚よ。ねえ、大丈夫？

滑川

いいえ、頼子さんです。三流劇団雑誌で、あなたの舞台写真を見たときには、心の底からびつくりしました。こんなところにいたなんて……

大塚

それは他人の空似……

滑川

単なる他人の空似なら、どうしてこんなところまで来たんです……。それも、樹海周辺に人がまるでいなくなったこんな時に……。あなたがいなくなった時

大塚

もちろんだこんな風でした。富士山大爆発っていう根も葉もない噂が立つ

滑川

て……。これが単なる偶然だと思えますか？

大塚

一体何を……

滑川

私はあなたから参加の申し込みがあつたとき、確信したんです。ああやつぱり、この人は頼子さんだったんで……。だってそうでしょう？偶然にして

滑川

は出来すぎてる。

大塚

は出来すぎてる。

滑川

は出来すぎてる。

大塚

は出来すぎてる。

滑川

は出来すぎてる。

大塚

は出来すぎてる。

滑川

は出来すぎてる。

大塚

多分偶然。完全に偶然。似ているのも他人の空似。私、頼子さんも、能義達哉も知らないし……

滑川

いえ、あなたがここに居るのは、決して偶然なんかじゃない。それはあなたが頼子さんだからです……ねえ、監督はどこなんですか？ この穴の中でですか？

大塚

滑川さん。落ち着きましょう？ ねっ？

滑川

頼子さん、教えてください……

大塚

滑川さん！

滑川、穴の中へ飛び降りる仕草。逃げる大塚……

手に持ったナイフを高々と上げ、滑川が一步前へ踏み出す……

大塚

ちよい待ち、滑川さん。このシーン、おしまい。そうそう、カット、カット！

滑川

どうして、教えてくれないんですか……あなたも、監督もどうして僕を置いてけぼりにしたんですか？

大塚

分かった。もう、オーデイション終了。そう言うことにしよう……

滑川

オーデイション？ そんなもの、端っからありませんよ。僕が、あなたを、頼子さんを、ここで発見する為仕組んだんですから……

大塚

全部嘘なの？ なんか、薄々感づいてたけど……それに、映画なんて撮る予定もないし、能義監督にも会えないってわけね……あなた、最終選考まで

残れば、監督に会えるって言ったじゃない……

滑川

会えます。あなたが知ってるはずでしょ？

大塚を追いつめていく、滑川……もはや、大塚の背後に逃げ場はない。

滑川

教えてください。監督はどこですか……監督がいなきや、僕は助監督でも何でもないじゃないか！ どうやって生きていけって言うんですか？ 教えてください。お願いします。でないと、ぼく……

滑川、アレックスから奪ったバタフライナイフを振りかざす……滑川の手が恐怖でふるふる震えているのが分かる。

―看板といったら ―骨だあ！ ― どのいつもこいつも「ど演歌」じゃん ―

滑川がナイフを高々と上げ、一步前へ踏み出した、その刹那。一つの礫が、滑川のナイフをはじき飛ばした。

手を押さえてうづくまる滑川。

舞台後方に木暮崎と久米田の姿。

木暮崎 滑川さんとやら…… 傷物にされたら、ちよいと困るぜ。そいつはうちの劇団

大塚 剣ちゃん？ 剣ちゃんなの？？

木暮崎 三流劇団ぽを・たんつの看板といったら、俺しかいねえだろ？

大塚 やつぱり、剣ちゃんなんだ。どうして、こんなところで……

木暮崎 さてね……

木暮崎、穴の中に降りる仕草。

木暮崎 キヤサリン、とにかく無事で何よりだ。滑川さんとやら…… 話は八割方聞

かせてもらったよ…… 頼子さんだが、あの時、確かにここに来ている……

滑川 (俯いていた顔を上げる)

木暮崎 タクシー運転手の久米田さんだ。いつもこのあたりを流してる…… あの日、

久米田 久米田さん、頼子さんをこの樹海の入り口まで乗つけて来たそうさ。なあ？

久米田 河口タクシーの久米田です。あの日、私確かに、結城頼子さんを樹海の入り口まで乗せて来ました。あの時は分かりませんが、その後で「どこにも行けない道」を見て、分かったんです。でも、とても自殺する風には見えなかつた…… だから、変だとは思ったんですが、私…… あれから、ずうつと後

悔しています。止めることが出来たのに、止められなかったことを…… ずうつと後悔しているんです……

木暮崎 久米田さん、あれを……

久米田 ああ、これ……(と胸の内ポケットより、紙切れを取り出す) あの日、営業が

終わった車の後部座席で、この走り書き、いや、書き置きを見付けたんです……

紙切れを滑川に渡す。

滑川 (紙切れを読む)「これは賭なの？ 賭かもしれないし、そうじゃないかもしれない。きつとたどり着けるって信じてる。迷宮をすり抜け、あなたのもとへた

どり着けるって信じてる……」

久米田 頼子さんの字ですか？

滑川 ええ。頼子さん、信じてたんだ。この樹海を抜けて、オープンセットにいる監督に会えるって…… 本気で信じてたんだ…… でも、出会うことはなかつた……

舞台後方に他の役者連中が現れる。口々に「キヤサリン」とか「滑川さん」とか叫んでいる。

大塚 みんなここ！ この穴ぼこの中！

役者連中、駆け寄ってきて、穴の中へ飛び降りる演技。

仲根 キヤサリン無事だったか。いや、でかい地震だったんで、大丈夫か心配で……

(と木暮崎に気付き) 剣も無事だったか、よかつた……って、何でお前ここに

木暮崎 いる！？ 仲根さん、久しぶり。俺がここにいる理由は、話せば長いんで…… なつ、久米

田さん。

久米田 ええ……

仲根 くめだ？

花吹雪 滑川さん。さっきの地震で、オープンセットが崩れちゃったよ。こりや、オー

クション中止だね……

大塚 オークションの件なんだけども……（花吹雪に耳打ちする）

花吹雪 はっはっ、端っから、薄々感づいてたけどね…… みんなも気づいてたんだろ？

全員頷く。西岡だけが、「なに？ なに？」と大塚に尋ねている……

賀茂 まあ、ええやないか、それはそれで…… なあ？

アヒンズ ああ。

仲根 結構楽しい、二日間だったし……

木暮崎 まつ、俺たちも俺たちなりに楽しめたしな……

久米田 生と死の境、ぎりぎりのラインだったような気がしますけど……

木暮崎 さすと、帰るとするか…… だらだらしていると日も暮れますよと……

前に歩み出そうとする木暮崎のズボンの裾が何かに絡まる。

木暮崎 なんだ？ こんな時に、だあれ、俺の裾を掴むのは…… 裾を掴むなっつー

の！ その手をどけろ。どけなさい……って、なんで、こんなところに、手が生えているの、地面から…… それも、骨だしいいいい！

全員、「骨！」と叫んで後退る。

照明が大塚へのサスポットだけに変わる……

大塚 ……それは、骨でした。細く、可憐な指を持った、透き通るように白い手の骨

でした。その華奢な指には……（首から、オープンハートを外し、指に鎖を絡

ませる）こんな風に、ペンダントが巻き付いていました……

舞台袖より、能義が現れ大塚に近づく。

能義 頼子…… 頼子なのか？

大塚 （頼子となつて）達哉……

能義 こんなところにいたのか……

オープンハートが絡みついた大塚の手。差し出したその手に、能義の手が重なる……

大塚 ……頼子の手を包み込むように添えられたもう一つの手。それもまた、青白

き骨と化していた。どういう訳か、私には分かった。それは能義の手の骨。優しく、そして強く頼子の手を握りしめている……

能義 （ペンダントをつまみ上げ）オープンハート…… お前が欲しいと言った。ペンダント。俺が唯一お前に送ったプレゼント。オープンハート…… でもそれは、まる

でこの形そっくりに、中身の抜けた心だった……

大塚 現実とは違ふ。自殺死体は見るも無惨だ。野犬に食い荒らされ、引き

きずり回され、それは目を覆うばかりの惨状なんだ。誰となくそう言う…… でも、この二人の死体は、絡み合った二つの手は…… まるで樹海の精

霊に守られたかのように、美しかった。その皮と肉は樹海に住まう虫たちや、もつと小さな者たちにより、咀嚼され、分解され、そして森の一部になっ

た…… 静謐なるこの森が、彼らの肉体を、そして魂をゆつくりと浄化したのだ。残ったのは骨。清らに白き骨。二人の抜け殻。でも、それは彼らの完全なる昇天を、魂の浄化を、私たちに雄弁に語っているかのようで……

滑川にも照明が当たる。

滑川 能義監督……監督、頼子さん見付けてたんだ。頼子さん、結局監督に会うことが出来たんだ……

少し恥ずかしそうに、能義が語り出す……

能義 俺たちが若い頃、あの「スバル座」で見た映画を覚えているか？ 古いフランス映画……

（頼子となつて「天井桟敷の人々」。

大塚 狭くて汚い劇場の中、二人つきり……それも妙に緊張してさ……

能義 いろいろな意味で印象的なラストシーンだった。妻も息子も省みず、セクシーな年増女のギャランズを追って雑踏の中へ駆けだしていく主役のバチスト……

能義 そして、ギャランズを見失ってしまったバチストは、彼女が消えた雑踏に向かい、

大塚 こう呟く、「ギャランズ……」。

大塚 あなたは主役のバチストが、どうしてあの年増女のギャランズに惹かれ続けるのか分からないと言った。でも、「ギャランズ」を「映画」という言葉に置き換えたら、まるで……

能義 まるで、俺みたいか？

大塚 ええ。私を捨てて、雑踏を疾走し、そしてあなたは虚空に向かって叫ぶの、「映画」と……あのフランス映画が、すべてを暗示していたの。こうなることを……

能義 俺たちは、あの小さな街から、ここまで走ってきた……俺は映画を撮るために。そして、お前はあの息の詰まる「家」から逃げるために……

大塚 いえ。あなたと手をつないでいたかっただけ……でも、結局、あなたは私なんかどうでも良かった。だから、あなたは最後に「映画」と叫ぶの。

能義 違うよ。俺は今、こうしてお前のそばにいる。雑踏の中に消えたのは「映画」

能義 じゃなくて「頼子」だった。で、俺はお前を見つけたんだ。この緑の迷宮の中で……俺たちはこうして手を握りあつたまま、あの街から二人で飛び出した、あの時と同じように……どこにも行けない道」の袋小路を抜け、そして、

大塚 その先へ行くんだ。

（自分の言葉に戻る）……そんな、会話が聞こえてきた。その美しい骨から……二人は心の真ん中にぼっかりと空いた穴を「思い出」で、お互いの「想い」で埋め尽くそうとしているようだった。本当だよ。本当に、聞こえたんだ……

大塚が、滑川を見る。滑川、ゆっくりと頷き、そしてぼつりと呟く……

滑川 僕にも、聞こえました……

そんな、静謐な時間を汚すかのごとき、木暮崎の声。

木暮崎 ほほほ、骨、骨……久米田さん。久米田袋から、スズランテープ！

木暮崎、スズランテープを受け取り、骨の近傍の木の根にその端を結びつける。

木暮崎 遺体発見。直ちにスズランテープにて、場所の特定をいたしましたあ！く、

久米田さん、何やつてるの、念仏、念仏！あと、久米田袋から、お清めの塩！

久米田、念仏唱えたり、塩まいたりして、忙しい。そんな最中、低い地鳴りが響き始める。皆、静止する。

西岡 何？

花吹雪 地震だ！

仲根 今度のもでかそうだな。

溶岩柔らかそうだし、この穴が崩れるかも……

賀茂 逃げるで、アレックス！

皆、穴から飛びだす。地震の轟音。地面が崩れる音。光の明滅！
明かりが元に戻る。全員が放心したように立ち尽くしている…

木暮崎 間一髪だったぜ。久米田さん。

賀茂 穴が、埋まっつてもうた…

膝を付き、地面に向かい叫ぶ滑川。

滑川 能義監督！ 頼子さん！

花吹雪 文字通り成仏したって感じだな。

大塚 看取られたかったのかな、彼ら。

西岡 私たちに？

大塚を先導に、全員合掌する。

大塚 さあ、帰ろう。滑川さん。

滑川 でも…

大塚 帰るんだよ。あんたは映画撮り続けなきゃ、能義の代わりに…

滑川 僕が？

花吹雪 あんたなら出来るよ…

西岡 結構面白かったですよ、このシナリオ。

トヘンズ 自分の才能に気づいてないだけさ…

滑川 でも、フィルムが…

大塚 フィルムがないなら、舞台でいいじゃん。

賀茂 舞台なら、金かけなくとも出来るの…

仲根 金、金、言うなよ。金と権力だけがものを言った時代、それがバブルだった。

それが遠く過ぎ去った今こそ、「心がものを言える時代」と言えるのかも
れない…

賀茂 おつちゃん、そりや、今日のコラムかいな…

西岡 今気づいたんだけど、お前、関西弁ばりばりやん！

賀茂 あいつアレックスに秘密しゃべつてもうたら、胸のつかえがすーつととれたん

や。あれが、トラウマやったんやろか？

西岡 秘密？

アレ・賀 (口に指をあて)秘密ゆうたら、秘密やろ。

大塚 まあ、金かけずとも、芝居はできる。それにあんたがやるんなら、みんな口ハ

で出演するはずさ。

滑川 みんな？

全員、自分自身を指さす。

木暮崎 なんか楽しそうだから、俺も馳せ参じるぜ。

久米田 私もね！

他全員 お前、役者？

久米田 タクシーの運ちゃん…

賀茂 せやけど、こないひと癖あるの集めて、どないな芝居になるんやろ？

花吹雪 そりや分からねえが… なんて言うか、猫も杓子も浪花節、どいつもこいつ

も「ど演歌」だねえ。じゃあ、この芝居、おおとりは艶華劇@Jongara 艶姿、

この花吹雪小春が仕切らせていただくよー！

舞台中央にすつくと立つ、花吹雪。

他のメンバーは投げられた礫のように、舞台袖へと消え入る。

「元禄花見踊り(原田ゆかり)」のイントロが威勢良く流れ始める。

花吹雪をとらえる一本のサススポット。その後ろで、驚くほどの数のバックサ
スが炸裂する。

まさに「おとり」!

魂のすべてを吐き尽くすかのような花吹雪の歌に合わせ、桜吹雪も舞うだろう。無煙火薬も爆発しちゃうだろう。(有)酸京クラウドが参加していれば、ご自慢の「キャノン砲」が火を吹いているところだろう。

歌の佳境では、艶姿の女優陣が乱入し、珍妙な踊りを披露するだろう。その上、コーラスとかもしちゃうだろう。その中に、「かなり痛い」のが一人混じっているだろう……

その後方では、男優陣が正座して三味線を弾いているだろう。当然、三味線は「庭ぼうき」だろう。でも、なんかすごい迫力なので、誰もつつこめないだろう……

舞台はやがて、総体積五立米の桜吹雪に埋もれていくだろう。

みんな、どうやって身動きとるのだろう？

そして、すべての虚構が終焉を迎え、

舞台はまた、深い闇に包まれるのだろう……

オープンハート……ぼつかりと空いた心の空隙を埋め尽くすには、あと、どれだけの「言葉」が必要なんだろう？

公演記録

二〇〇二年七月十一日～十五日 大塚・萬スタジオ

作・はなださとし 演出・木村敦

舞台監督・吉田 貴行 照明・松本伸一郎 音響・畠山 慎一(SOAP) 音楽・諏訪祐太朗
映像・中島一成 映像プログラム・川上琢史 舞台美術、小道具・D.G工房 イラスト・
タネシゲヒコ 制作・矢作勝義、近藤澄江、富永恵久子

キャスト／キャサリン大塚・羽鳥友子 木暮崎剣・深澤幸太 西岡花梨・原麻理子 アレッ
クス V2000・西村亮 花吹雪小春・酒田恵美子 仲根和彦・山口浩正 賀茂愛・たにざわ
すみえ 久米田さん・高橋彰規 滑川史郎・八尾光弘 能義達哉・木村敦

問い合わせ先

演劇レーベル Bō-tanz

〒201-0013

東京都狛江市市元和泉 2-15-15-205

<http://bo-tanz.org>

shanada@me.com